

第4回県政インターネットモニターアンケート集計結果
生物多様性に関する意識調査
救急医療に関するアンケート
「花の都」づくりの認知度、花き消費等に関するアンケート
「自転車乗車用ヘルメット着用努力義務にかかる周知・着用状況」に関するアンケート

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、合計が100%にならない場合がある。

○生物多様性に関する意識調査

ふじのくに生物多様性地域戦略の推進にあたり、県民の意識の現況を把握し意識啓発等の政策に反映させるため、生物多様性の意識調査を実施します。

○救急医療に関するアンケート

現在、高齢化の進行等により救急搬送件数が増加傾向にあり、救急隊や救急医療機関の負担が増大しています。県民の皆様が24時間安心して必要な救急医療を受けることができる体制を守るため、県民の皆様にも、このような医療の現状を御理解いただき、適切な受診を心がけていただくことが必要となっています。

そこで、県民の皆様から率直な御意見をお伺いし、今後の施策の参考とさせていただきたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。

○「花の都」づくりの認知度、花き消費等に関するアンケート

静岡県は、多彩で高品質な花の全国屈指の生産県であるとともに、一年を通して花を楽しむ名所や花に関わる人材も豊富です。暮らしの様々な場面で花と緑があふれるふじのくに「花の都しずおか」の実現を目指し、「花の都」づくりを推進しています。

今後の取組の参考にするため、皆様の率直な御意見をお聞かせください。

○「自転車乗車用ヘルメット着用努力義務にかかる周知・着用状況」に関するアンケート

本年4月1日に道路交通法の一部が改正され、全ての自転車利用者に対して乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

施行日を境として自転車乗車時のヘルメット着用者は増加していますが、いまだ十分な水準とは言えず、今後も継続してヘルメット着用の啓発活動が必要です。

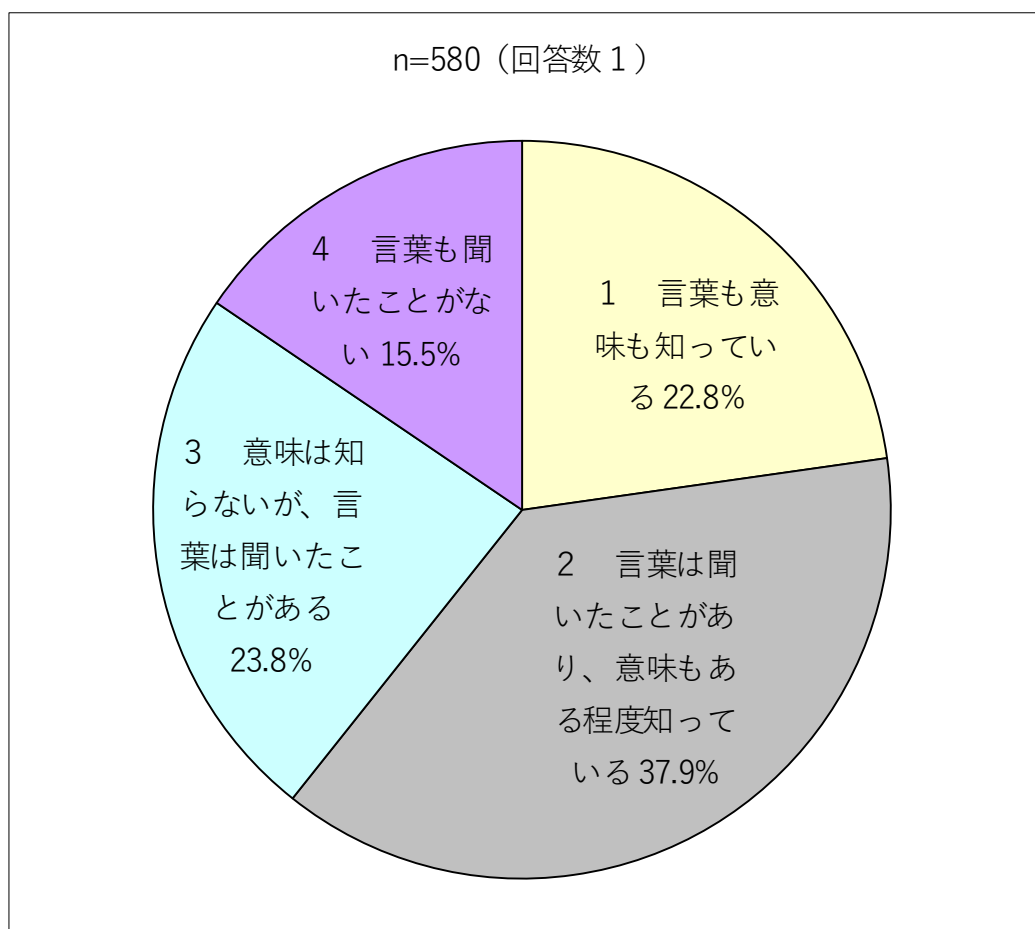
同取組に対する県民の皆様の周知・実践状況について調査を行い、今後の自転車安全利用対策に生かすため、アンケートに御協力をお願いします。

回答者数：580人（回答率：86.3%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	228	39.3%
	女性	349	60.2%
	その他	3	0.5%
年代	10代	16	2.8%
	20代	41	7.1%
	30代	70	12.1%
	40代	109	18.8%
	50代	148	25.5%
	60代	116	20.0%
	70代	61	10.5%
	80代	19	3.3%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	3	0.5%
	東部	179	30.9%
	中部	228	39.3%
	西部	169	29.1%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	43	7.4%
	会社員	184	31.7%
	公務員	21	3.6%
	パート・内職従事者	106	18.3%
	学生	44	7.6%
	無職	151	26.0%
	その他	31	5.3%

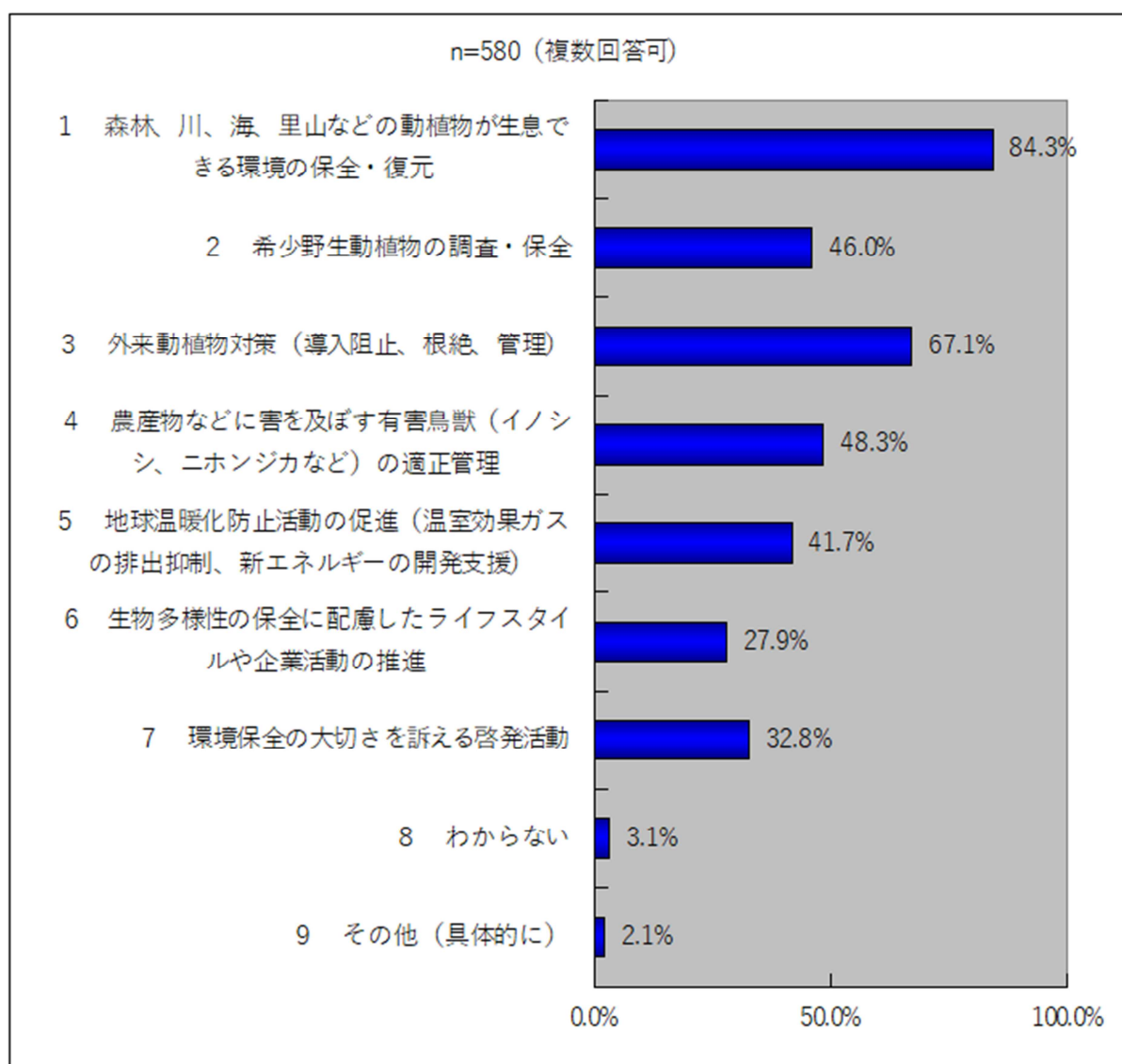
○生物多様性に関する意識調査

問1 あなたは、「生物多様性」※という言葉や意味について、どの程度ご存知ですか。(回答数は1つ)

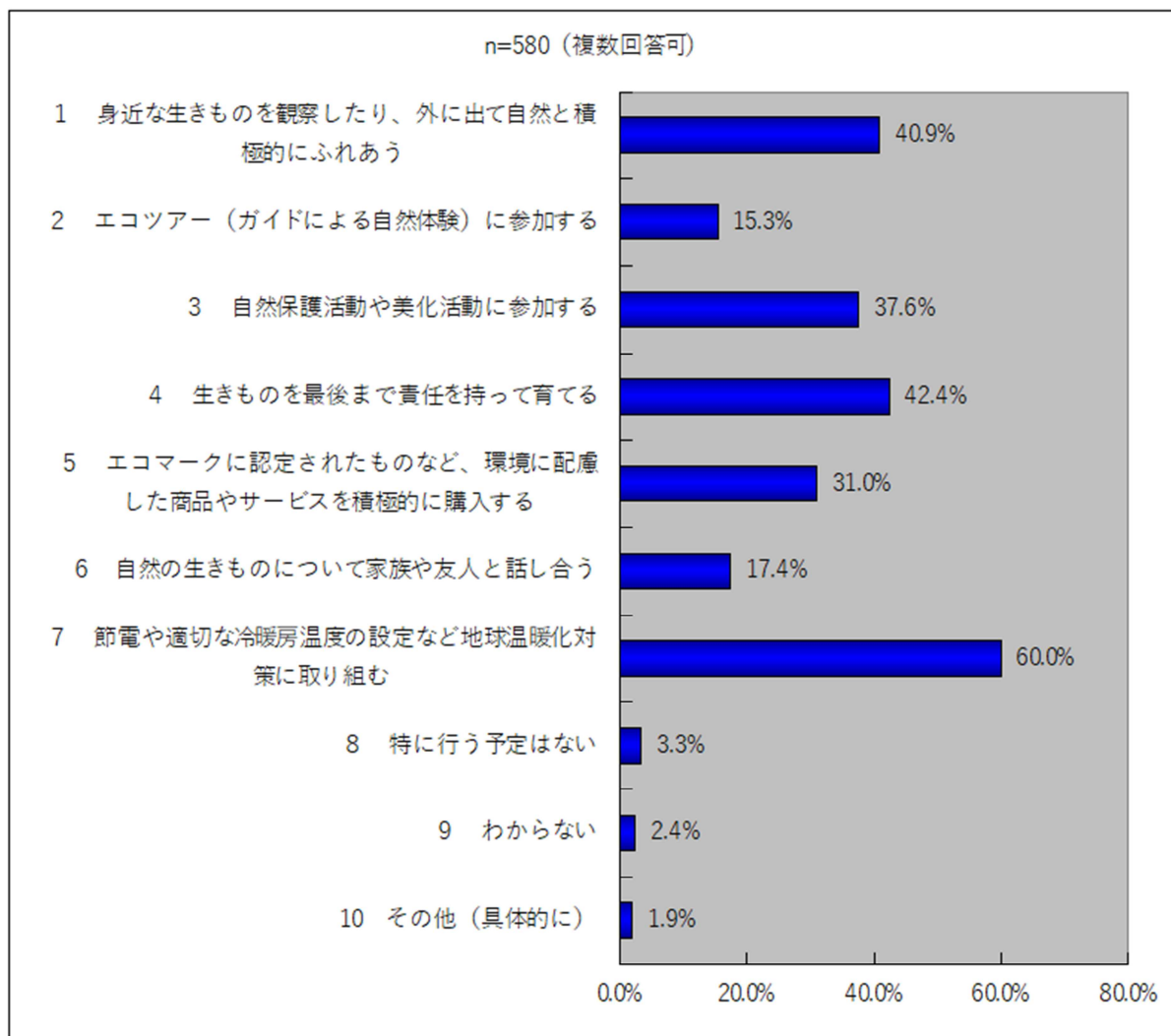
※生物多様性・・・地域ごとに固有の自然や特有の生物が存在し、その生物が“食べる－食べられる”といった食物連鎖などの関係でつながっていることをいいます。人類は、生物多様性からもたらされる様々な恵みに支えられており、この恵みを今後も享受していくためには、生物多様性を維持し後世へ継承していくことが必要不可欠です。



問2 生物多様性の保全を図り、自然のめぐみを受け続けるために、どのような県の取組が必要だと思いますか。(複数回答可)



問3 あなたは、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルとして、どのようなことを行いたいと思いますか。(複数回答可)



問4 生物多様性の保全についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(500字以内)

担当課名 くらし・環境部環境局自然保護課

電話番号 054-221-2719

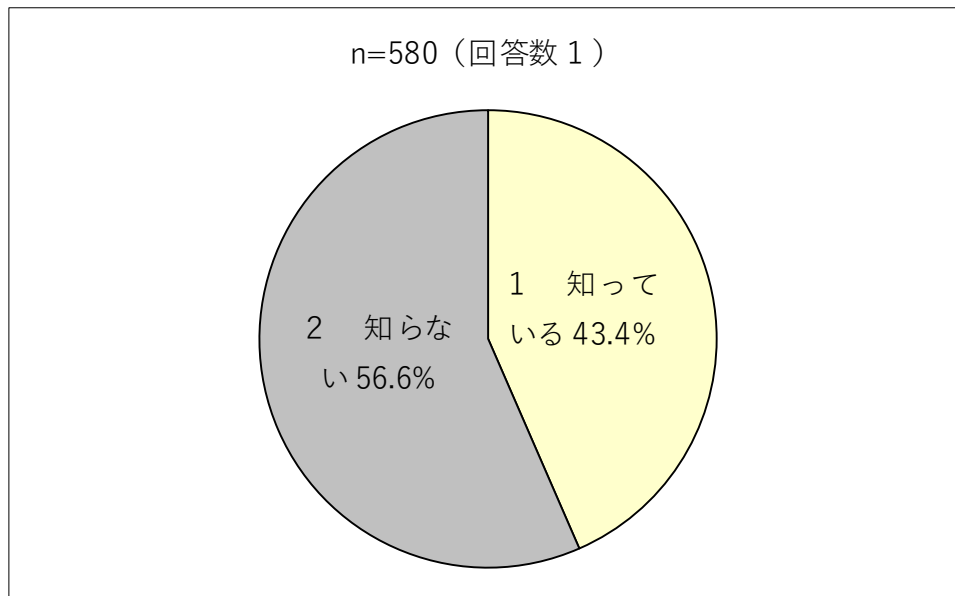
FAX 054-221-3278

メール shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp

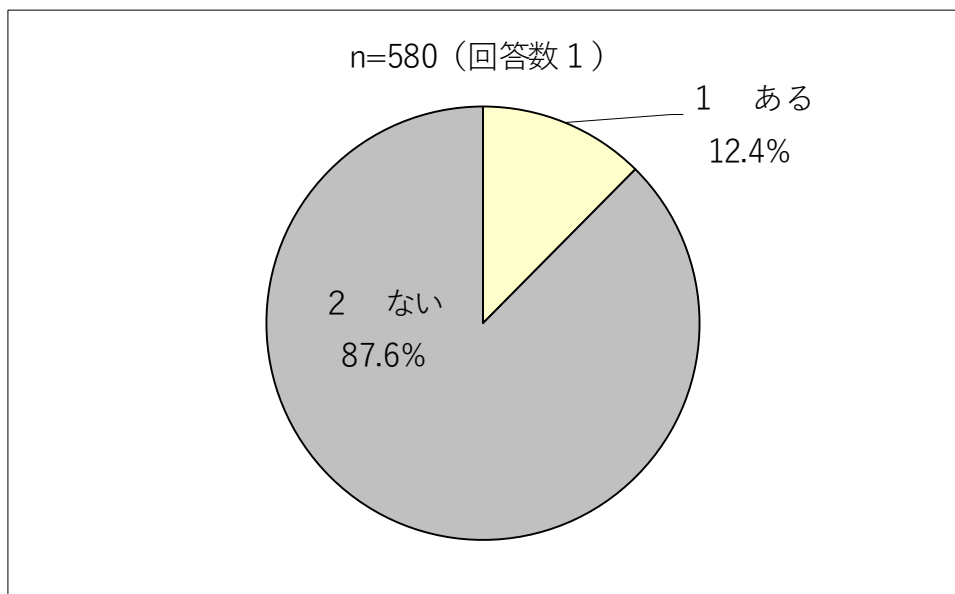
○救急医療に関するアンケート

< 静岡こども救急電話相談(#8000)について >

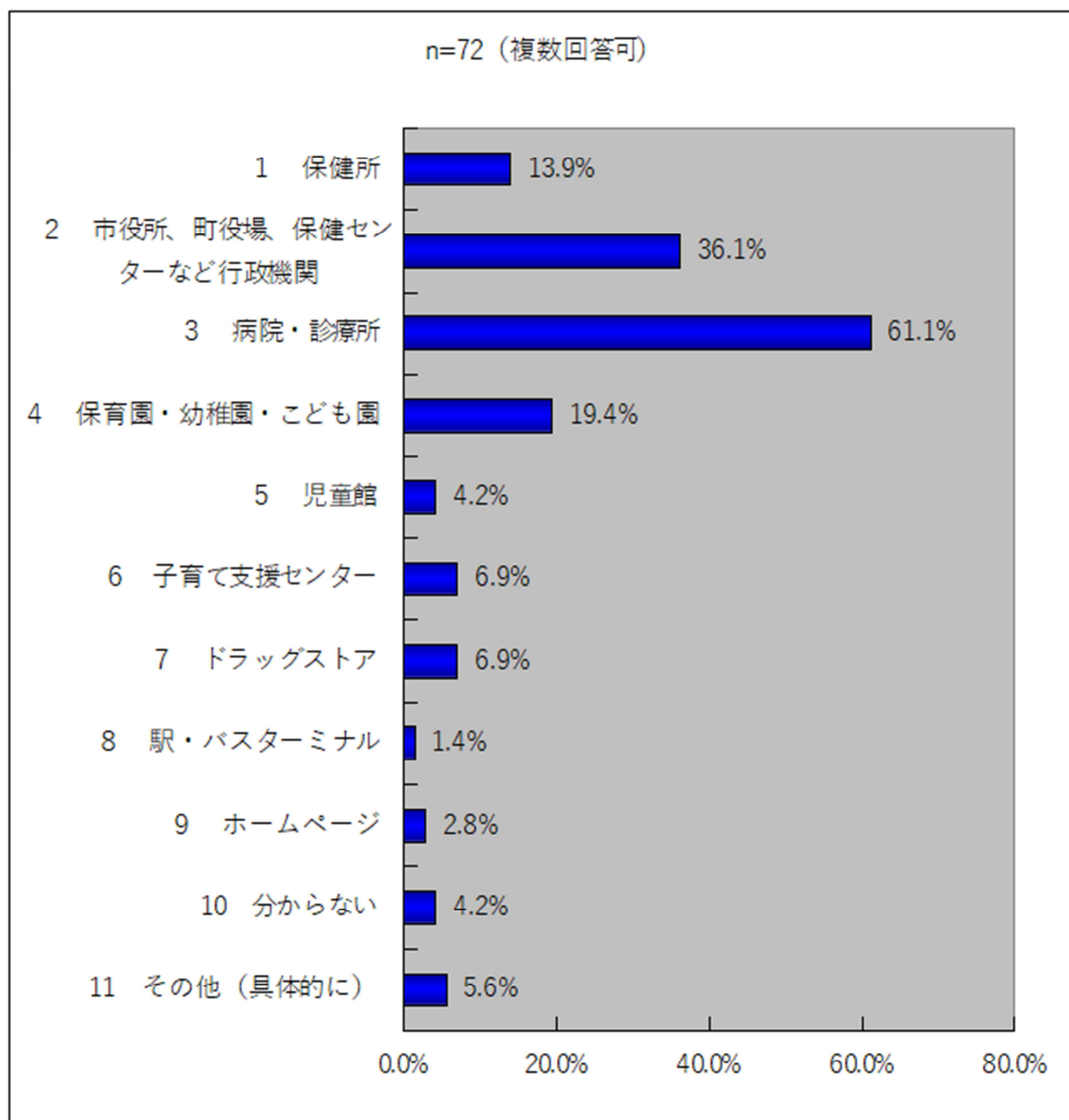
問1 静岡県には、お子様(中学生まで)が、急に具合が悪くなったとき、どのように対応したらよいか電話で相談できる「静岡こども救急電話相談(#8000)」がありますが、あなたは知っていますか。(回答数は1つ)



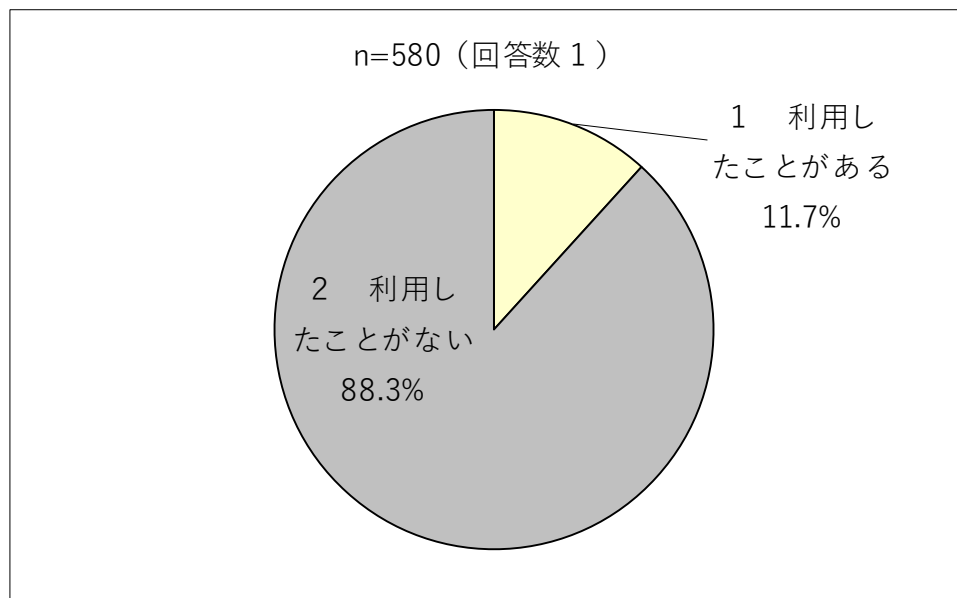
問2 県では、「それいけ！アンパンマン」を使用した「静岡こども救急電話相談(#8000)」のポスターやチラシなどを作成していますが、あなたは御覧になったことがありますか。(回答数は1つ)



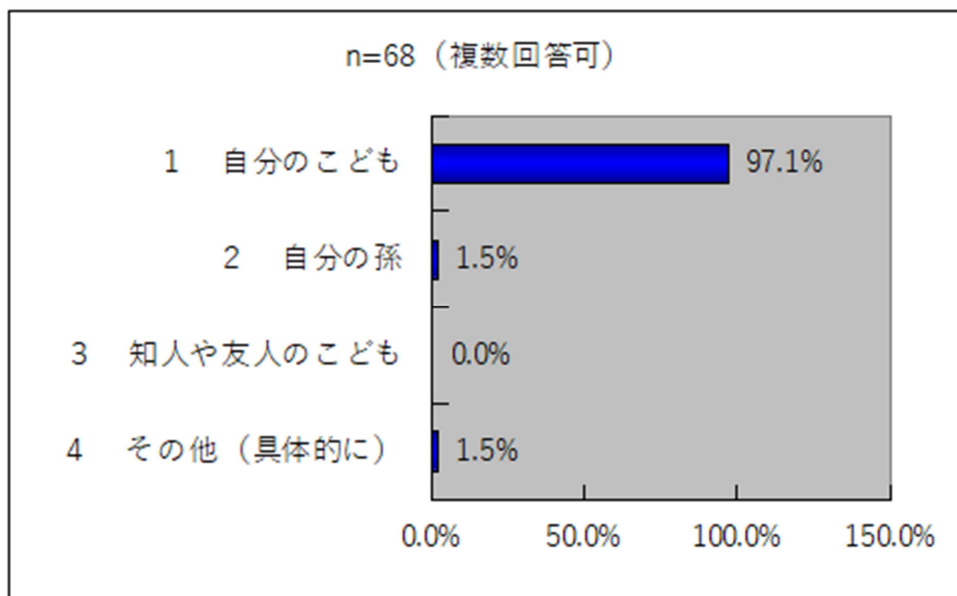
問2-2 問2で選択肢1を選択された方に伺います。あなたは、「それいけ！アンパンマン」を使用した「静岡こども救急電話相談(#8000)」のポスターやチラシをどこで御覧になりましたか。(複数回答可)



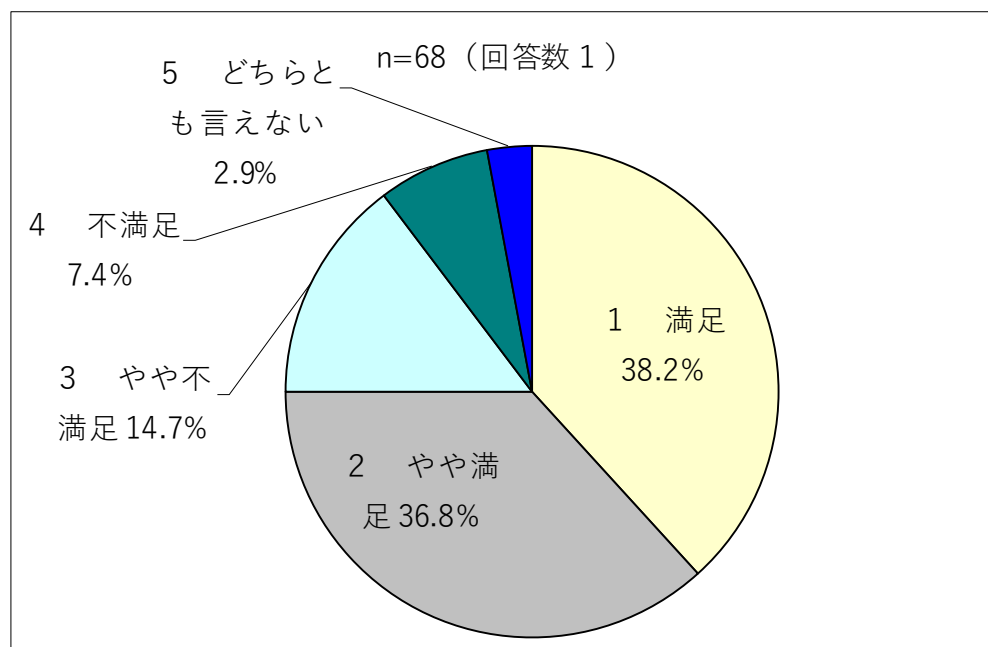
問3 あなたは、「静岡こども救急電話相談（#8000）」を利用したことがありますか。（回答数は1つ）



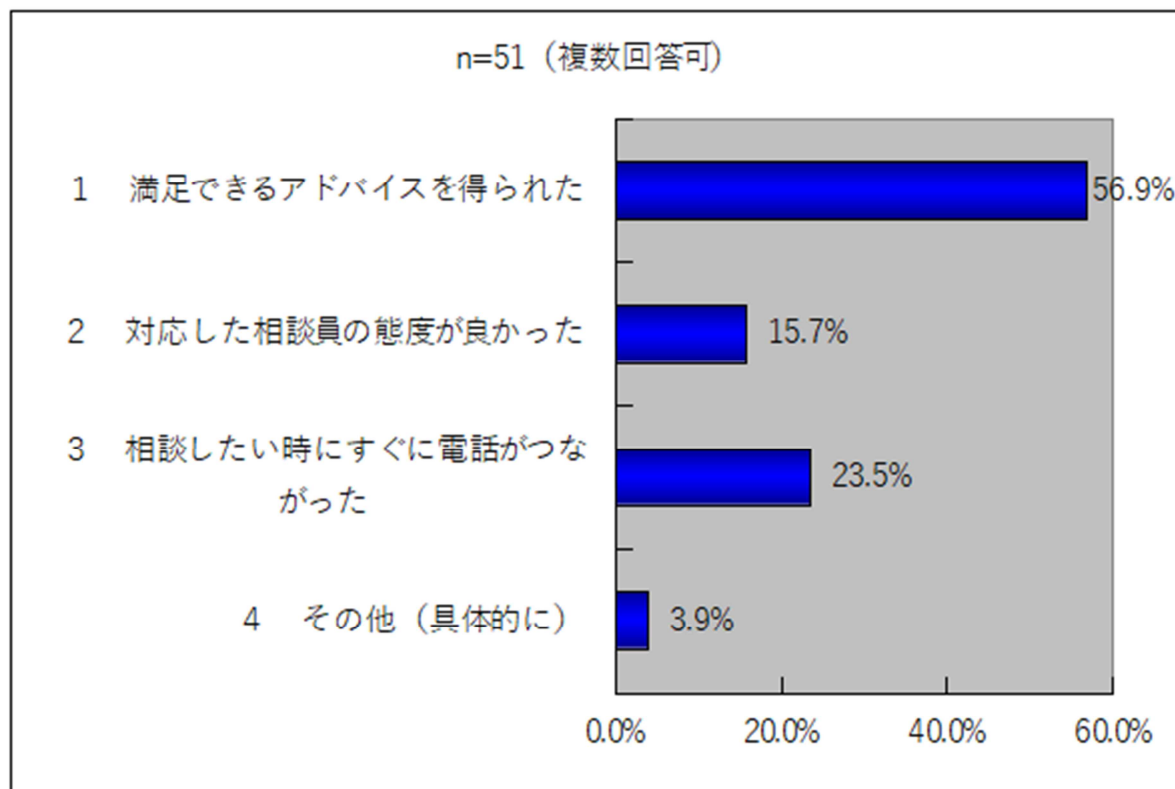
問3－2 問3で選択肢1を選択された方に伺います。どなたの具合が悪くなったときに御利用されましたか。（複数回答可）



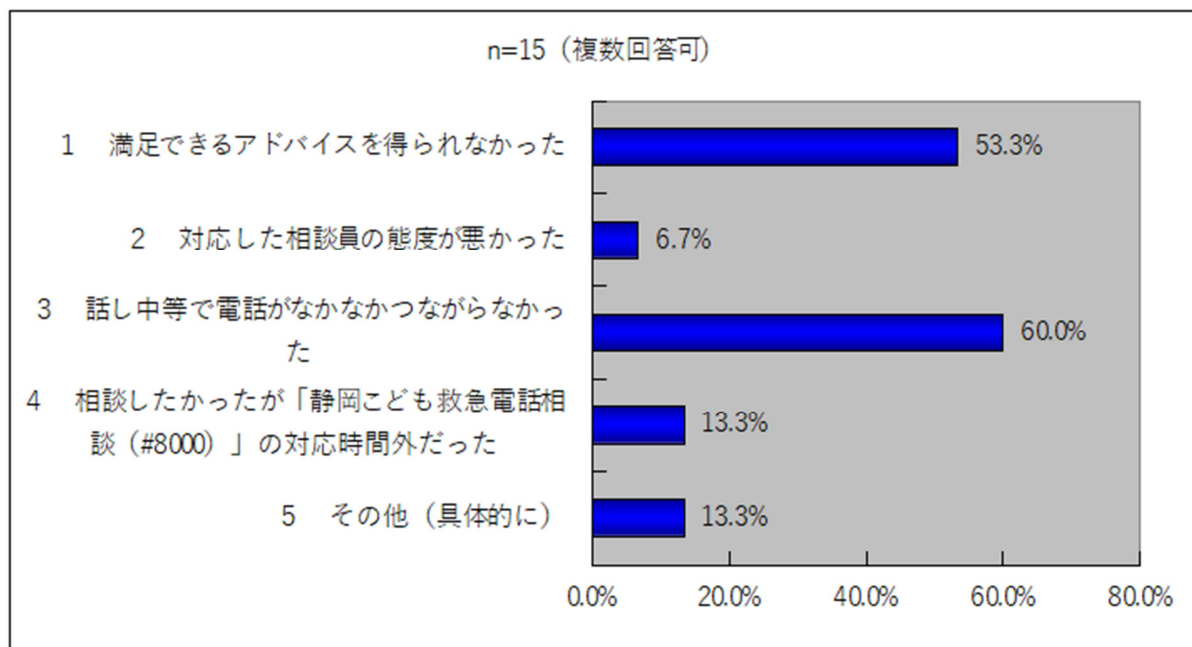
問3－3 問3で選択肢1を選択された方に伺います。「静岡こども救急電話相談（#8000）」の助言等には、御満足いただけましたか。（回答数は1つ）



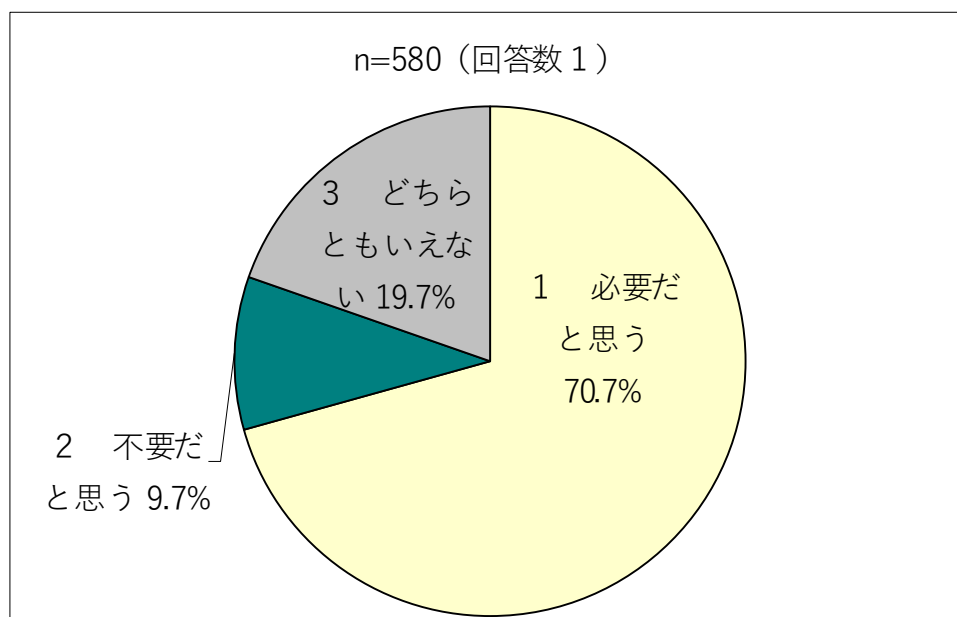
問3－3－2 問3－3で選択肢1または2を選択された方に伺います。「静岡こども救急電話相談（#8000）」のどのような点について満足だと感じましたか。（複数回答可）



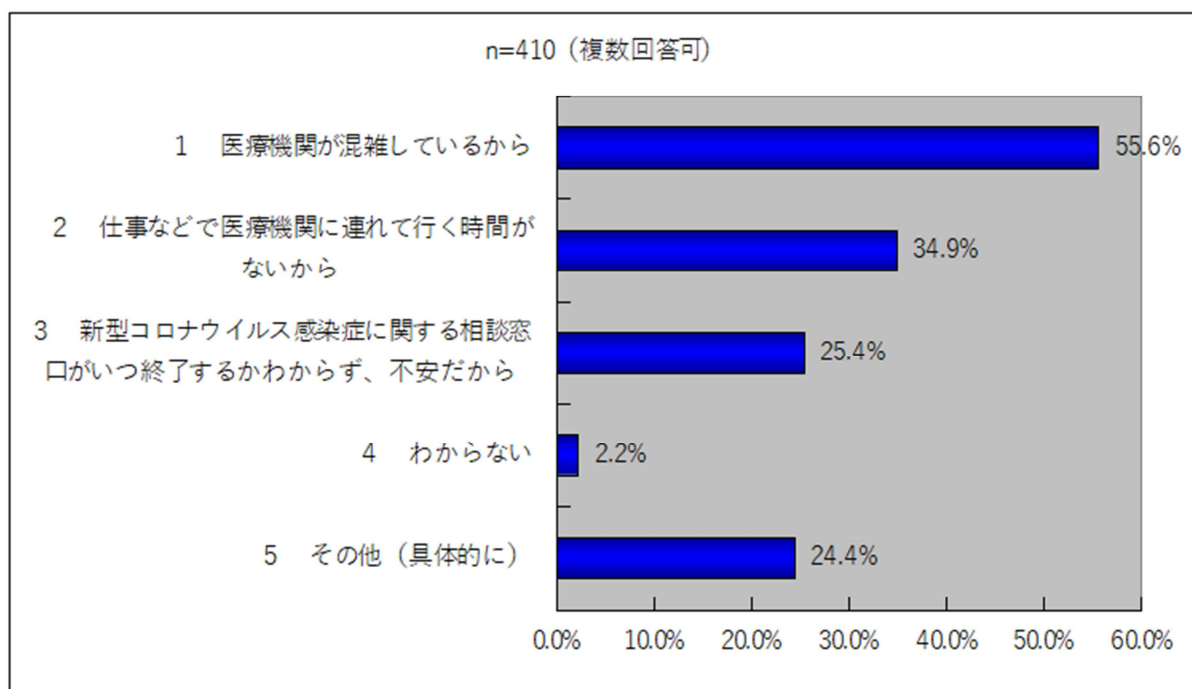
問3-3-3 問3-3で選択肢3または4を選択された方に伺います。「静岡こども救急電話相談(#8000)」のどのような点について不満足だと感じましたか。(複数回答可)



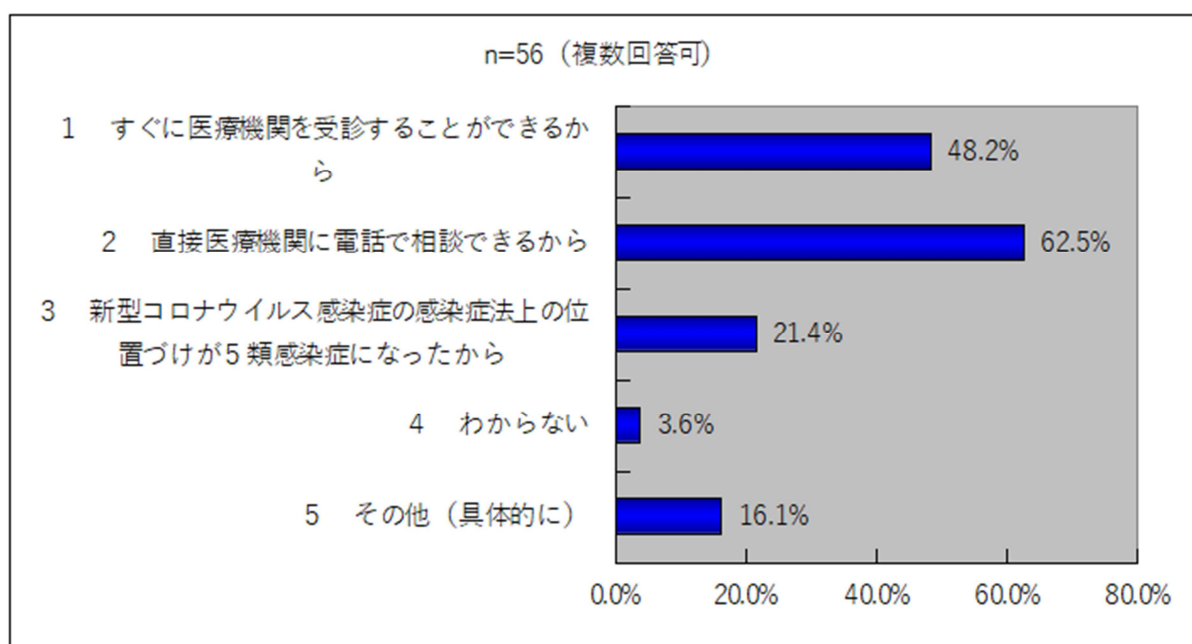
問4 「静岡こども救急電話相談(#8000)」の相談時間は、夜間・休日のみ(平日:18時～翌8時、土:13時～翌8時、日祝:8時～翌8時)でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大への対応のため、令和4年8月から、相談時間を、医療機関の診療時間内(平日:8時～18時、土:8時～13時)も含む毎日24時間に拡充し、令和5年度も24時間体制を継続しています。あなたは、今後も医療機関の診療時間内にも、「静岡こども救急電話相談(#8000)」を利用できる必要があると思いますか。(回答数は1つ)



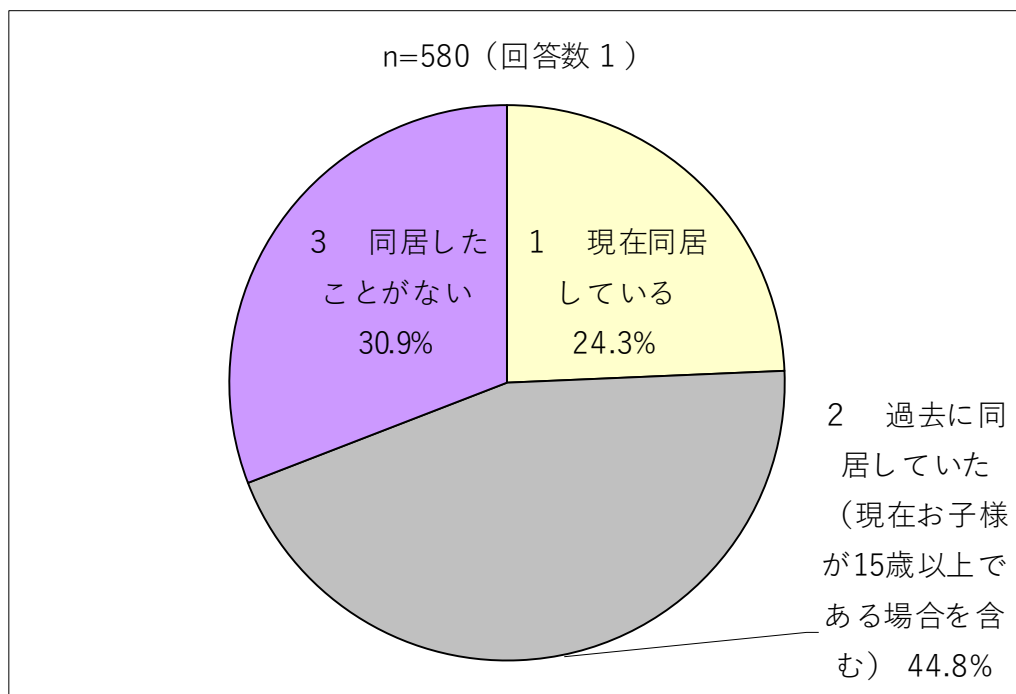
問4－2 問4で選択肢1を選択された方に伺います。必要だと思う理由を教えてください。
（複数回答可）



問4－3 問4で選択肢2を選択された方に伺います。不要だと思う理由を教えてください。
（複数回答可）

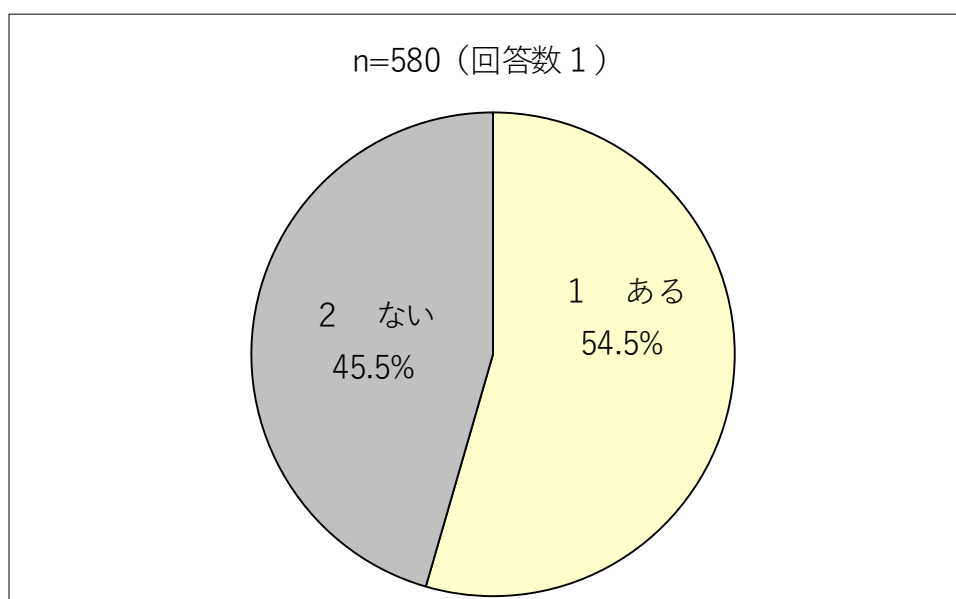


問5 あなたは、15 歳未満のお子様(自分の子ども又は孫)と同居したことがありますか。
(回答数は1つ)

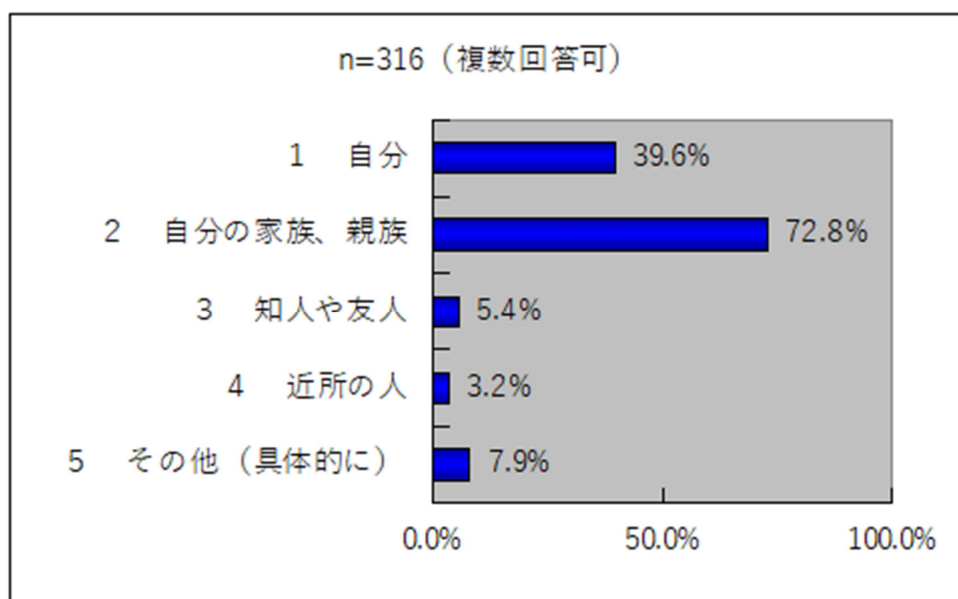


<救急車の利用について>

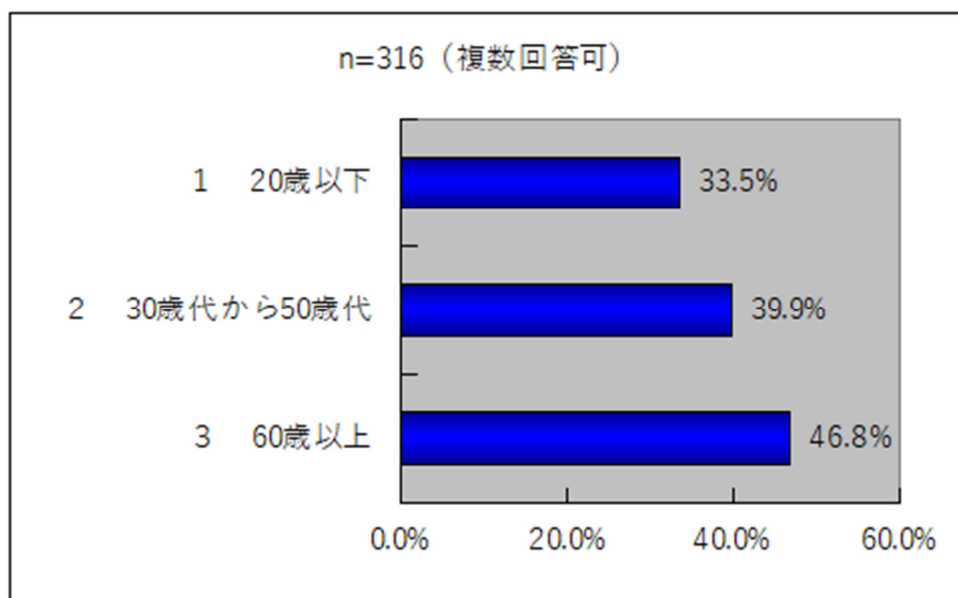
問6 あなたは、救急車を呼んだことや、呼んでもらったことはありますか。(回答数は1つ)



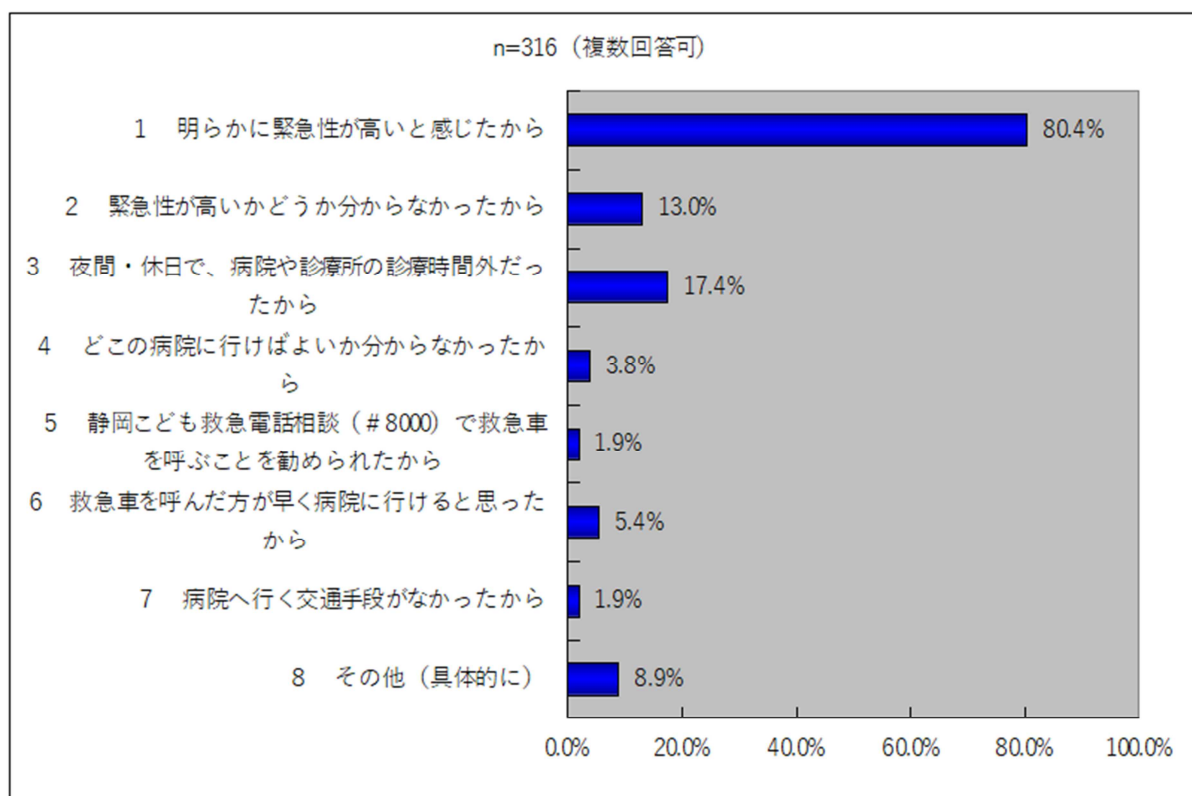
問6－2 問6で選択肢1を選択された方に伺います。どなたの具合が悪くなったときに御利用されましたか。(複数回答可)



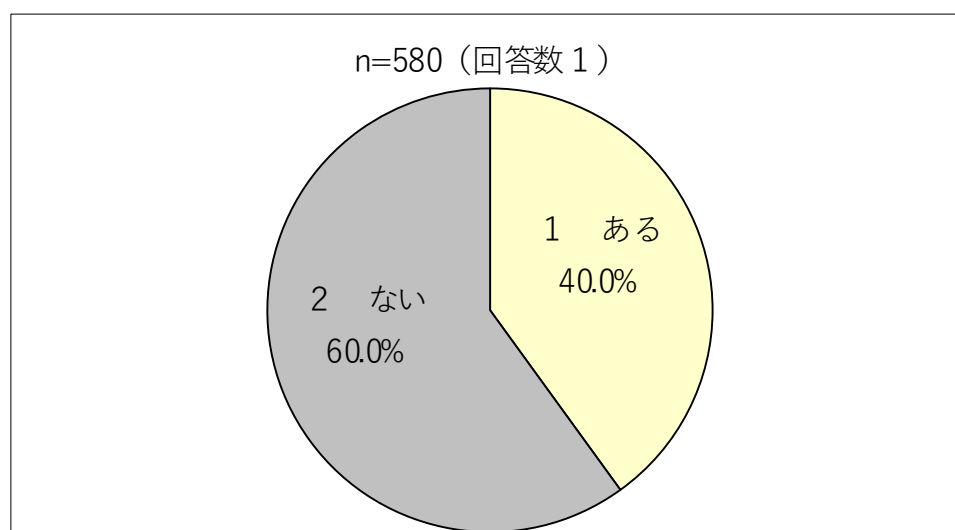
問6－3 問6で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を利用された方の年齢を教えてください。(複数回答可)



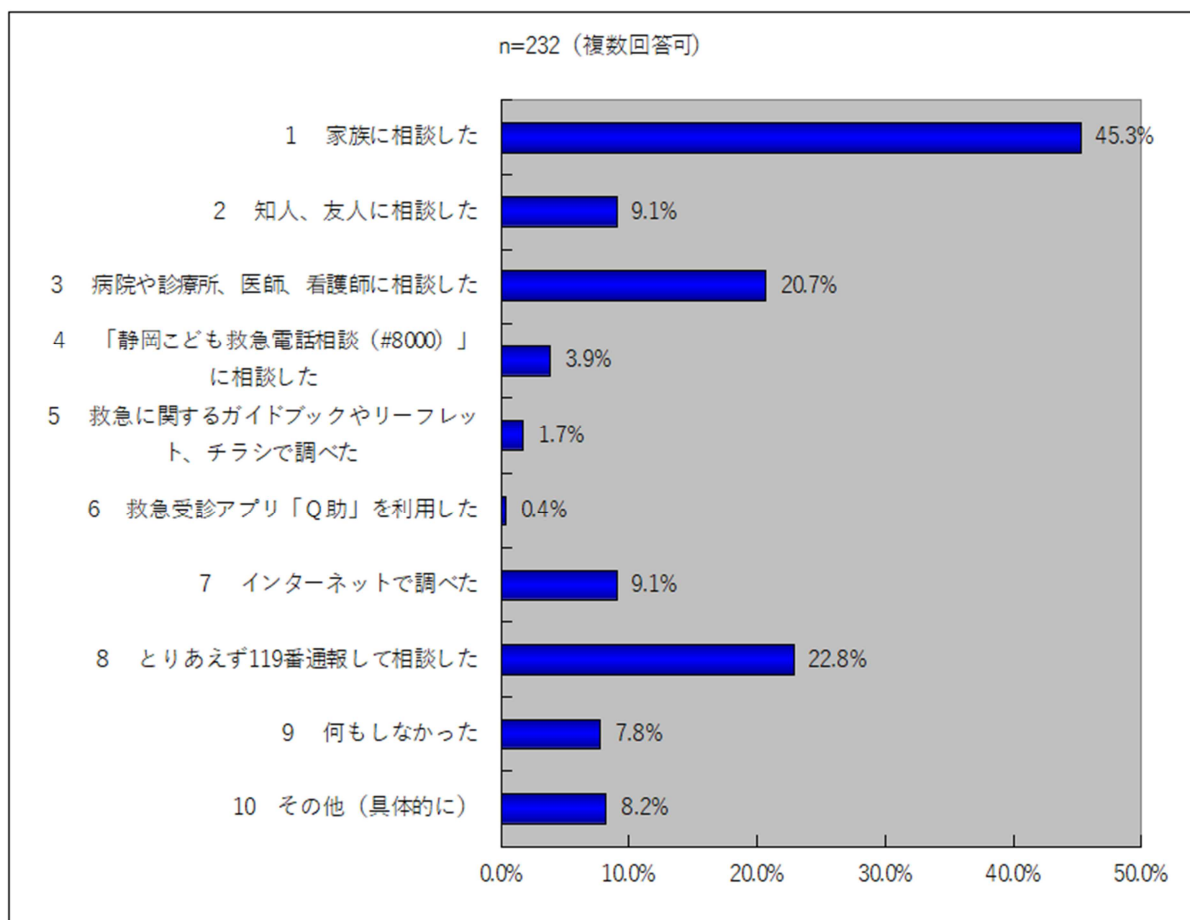
問6－4 問6で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を呼んだり、呼んでもらったりした理由は何ですか。(複数回答可)



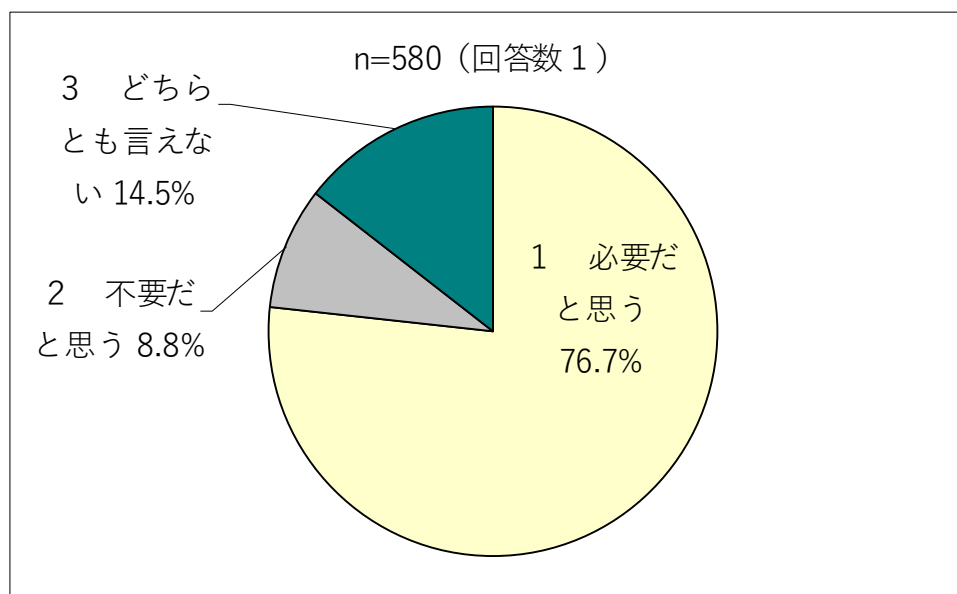
問7 あなたは、救急車を呼ぶべきかどうか判断に迷ったことはありますか。(回答数は1つ)



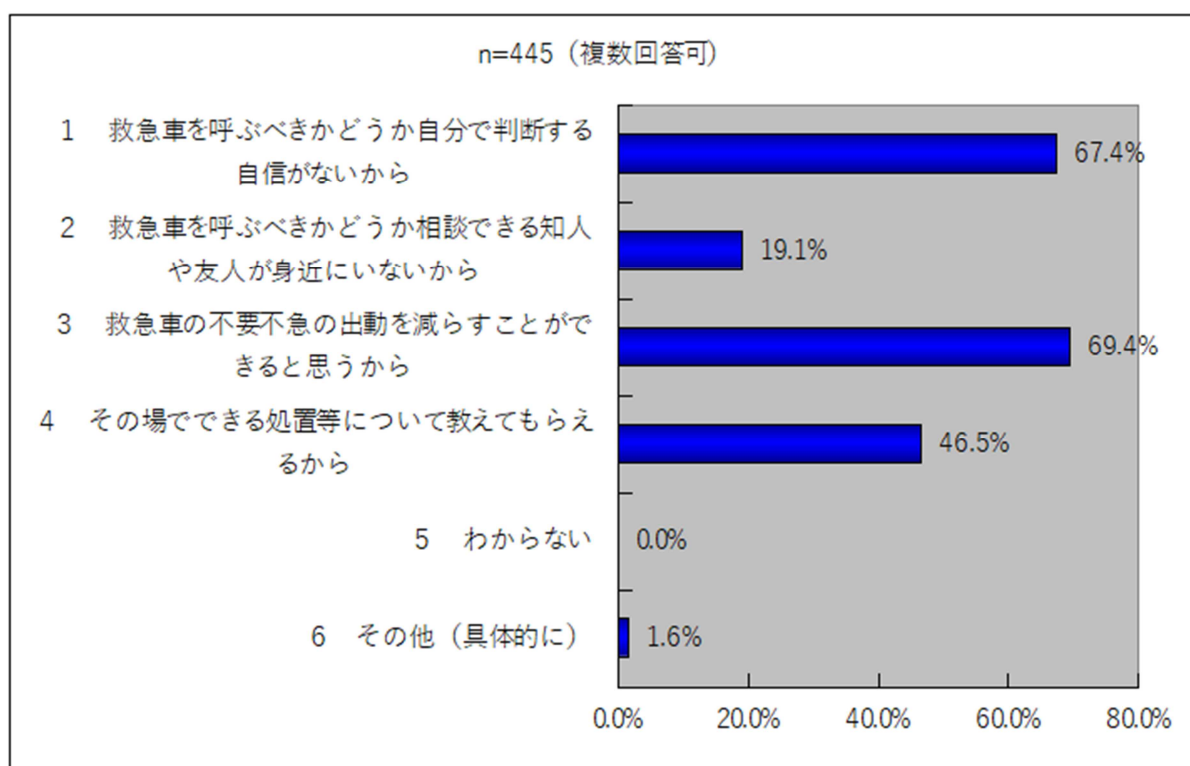
問7-2 問7で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を呼ぶべきかどうか迷ったとき、あなたはどのようにしましたか。(複数回答可)



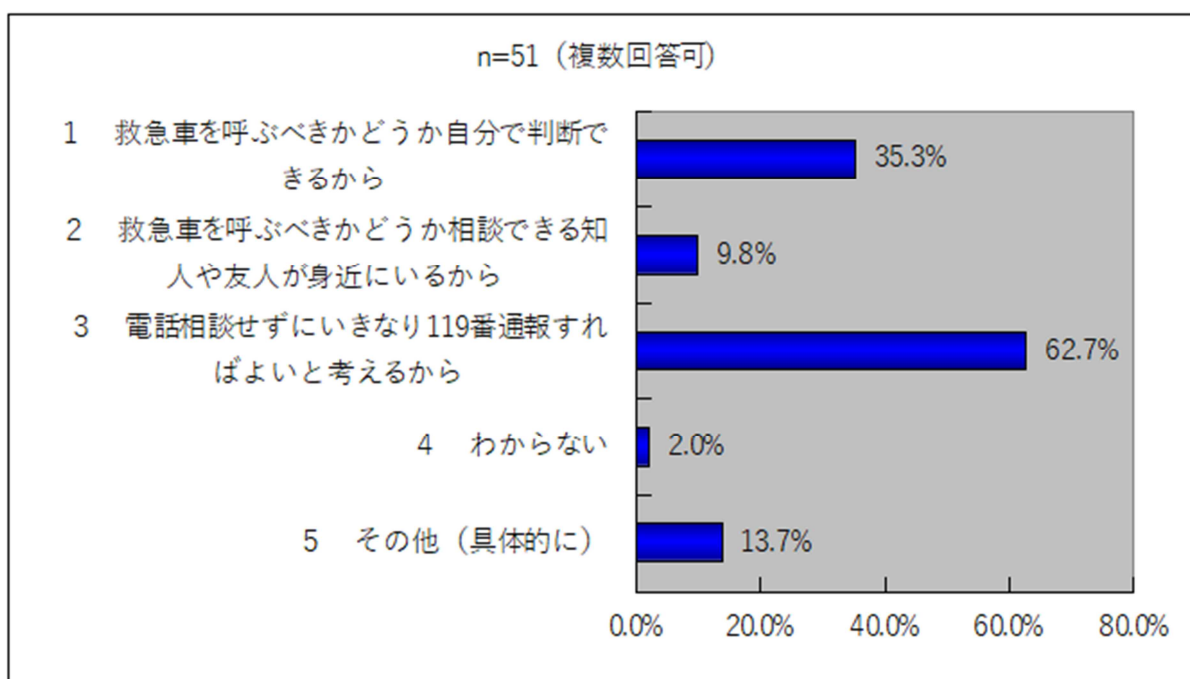
問8 あなたは、救急車を呼ぶべきかどうか判断に迷った時、誰でも電話で相談ができる窓口が必要だと思いますか。(回答数は1つ)



問8-2 問8で選択肢1を選択された方に伺います。必要だと思う理由を教えてください。
(複数回答可)



問8-3 問8で選択肢2を選択された方に伺います。不要だと思う理由を教えてください。
(複数回答可)

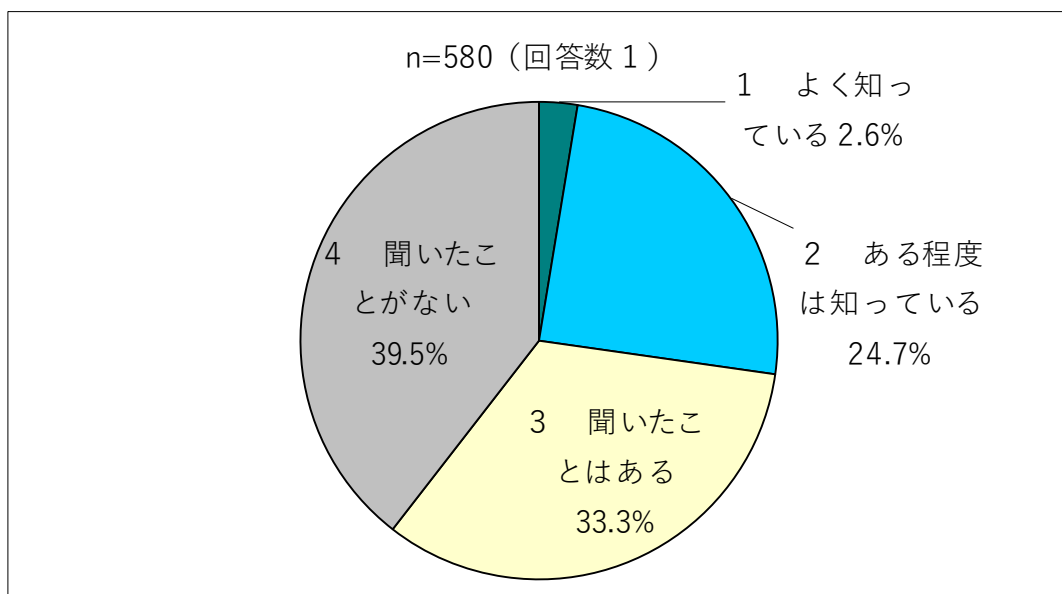


問9 救急医療に関する御意見やお気づきの点がありましたら、御記入ください。(500 字以内)

担当課 健康福祉部医療局地域医療課
電話番号 054-221-2406
FAX 054-251-7188
メール chiikiiryu@pref.shizuoka.lg.jp

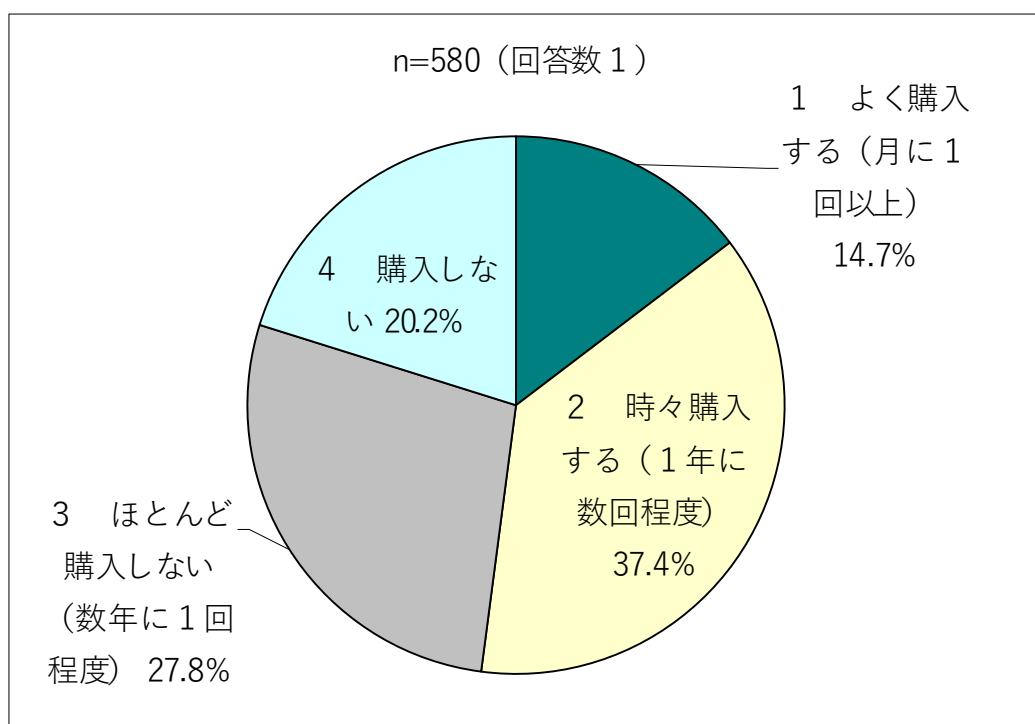
○「花の都」づくりの認知度、花き消費等に関するアンケート

問1 あなたは、web ページや SNS による花情報発信、花緑コンテストや花育活動などの「花の都」づくりの取組について知っていますか。(回答数は1つ)

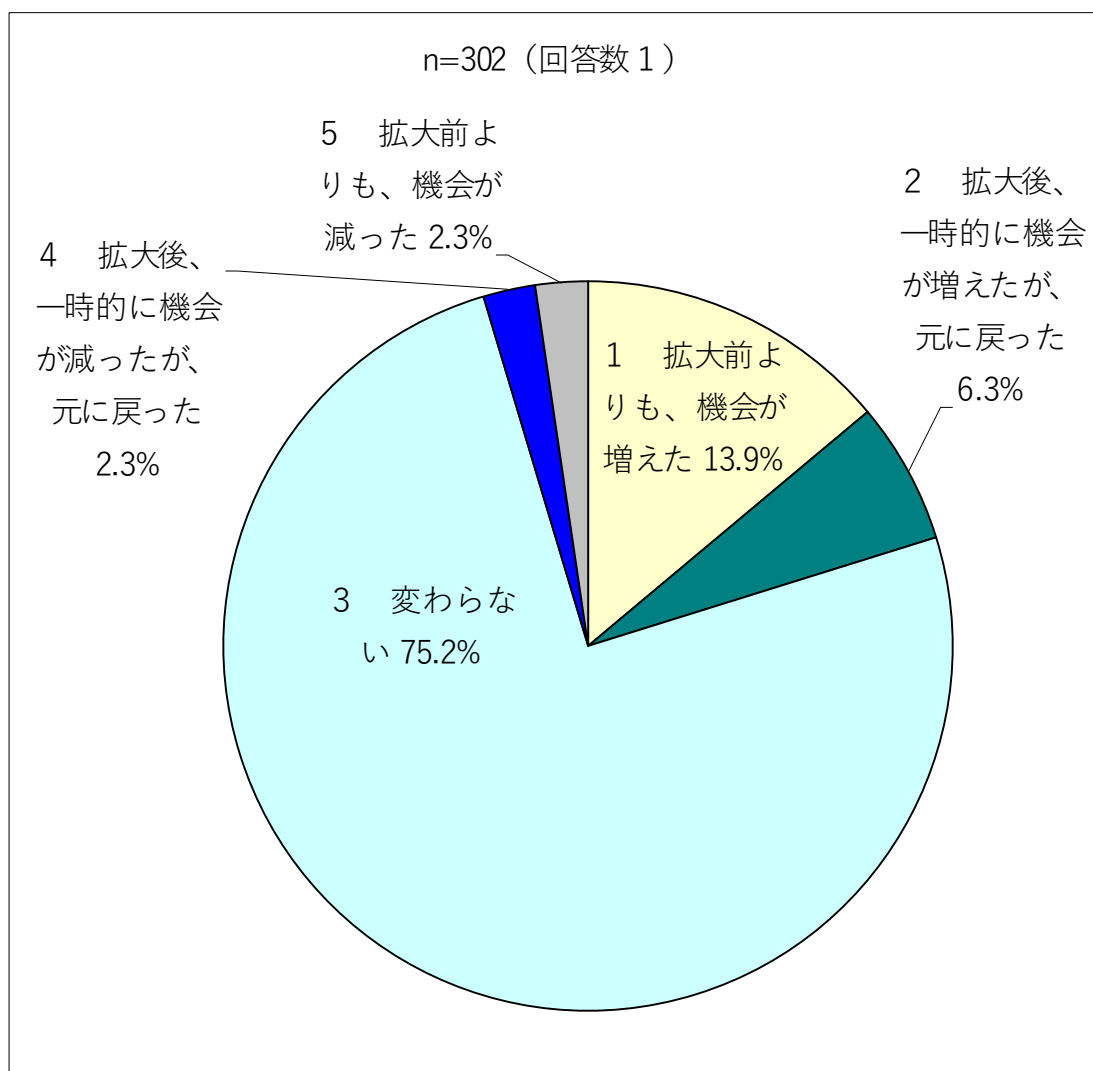


問2 あなたは、自宅用に花*を購入することがありますか。(回答数は1つ)

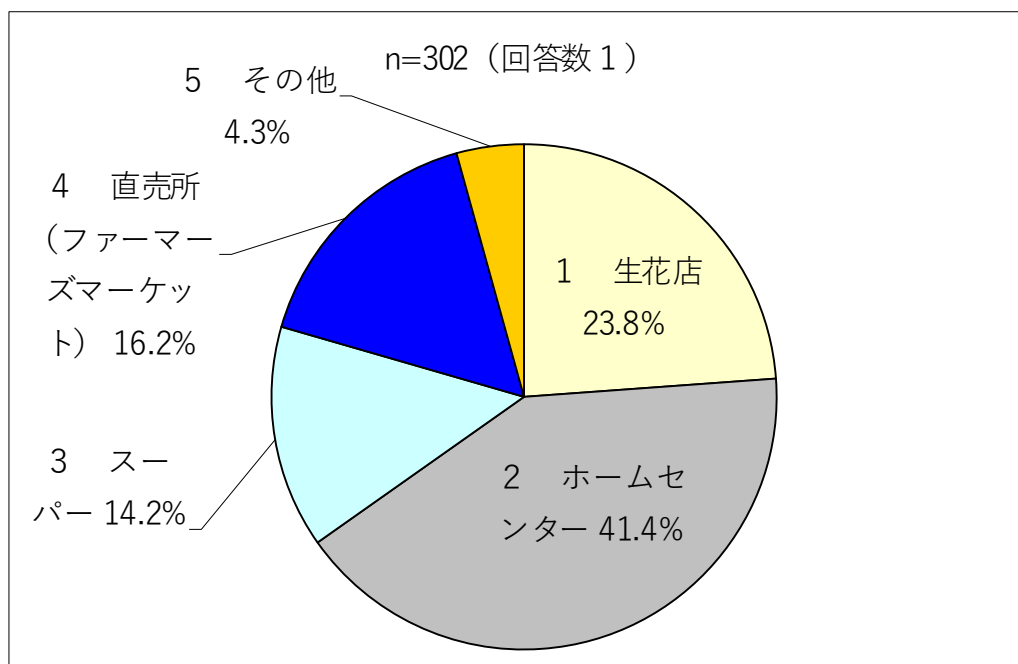
*花:切花、鉢物(鉢花、観葉植物、洋ラン等)、花苗、球根、花のタネ等(問3以下同じ)



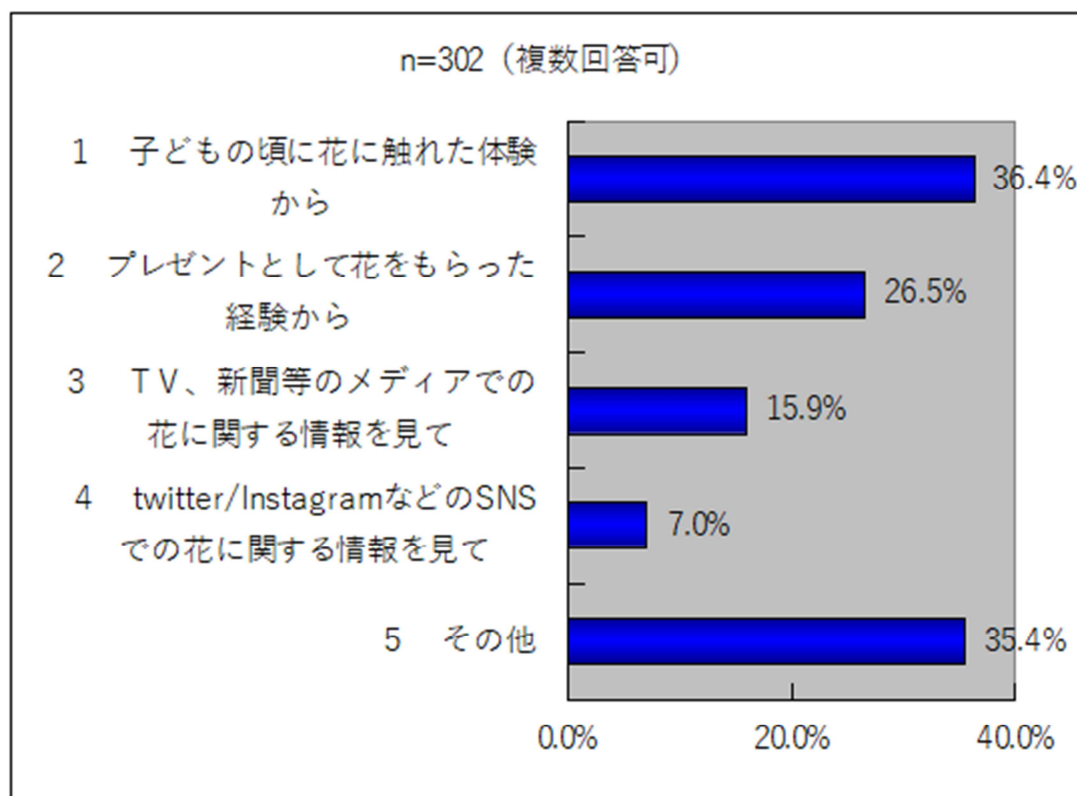
問2-2 問2で選択肢1または2を選択された方に伺います。新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べ、現在、自宅用に花を購入する機会は増えましたか。(回答数は1つ)



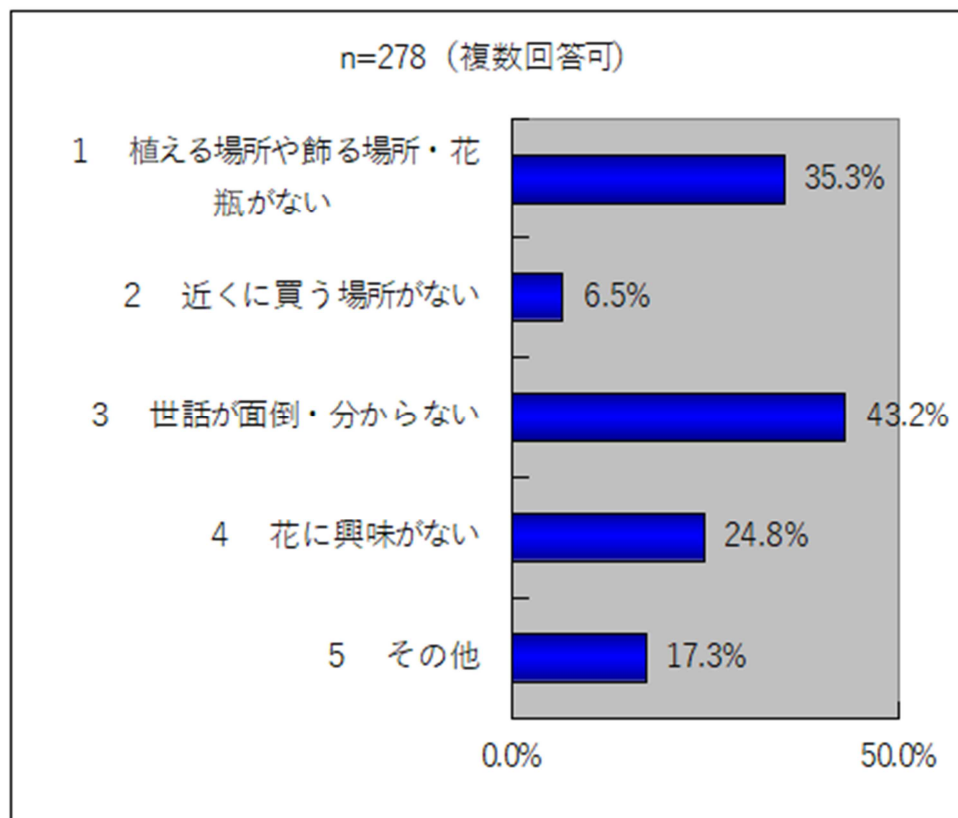
問2－3 問2で選択肢1または2を選択された方に伺います。一番よく利用する花の購入先はどこですか。(回答数は1つ)



問2－4 問2で選択肢1または2を選択された方に伺います。あなたが花を購入をするようになったきっかけは何ですか。(複数回答可)



問2－5 問2で選択肢3または4を選択された方に伺います。あなたが花を購入しない理由は何ですか。(複数回答可)

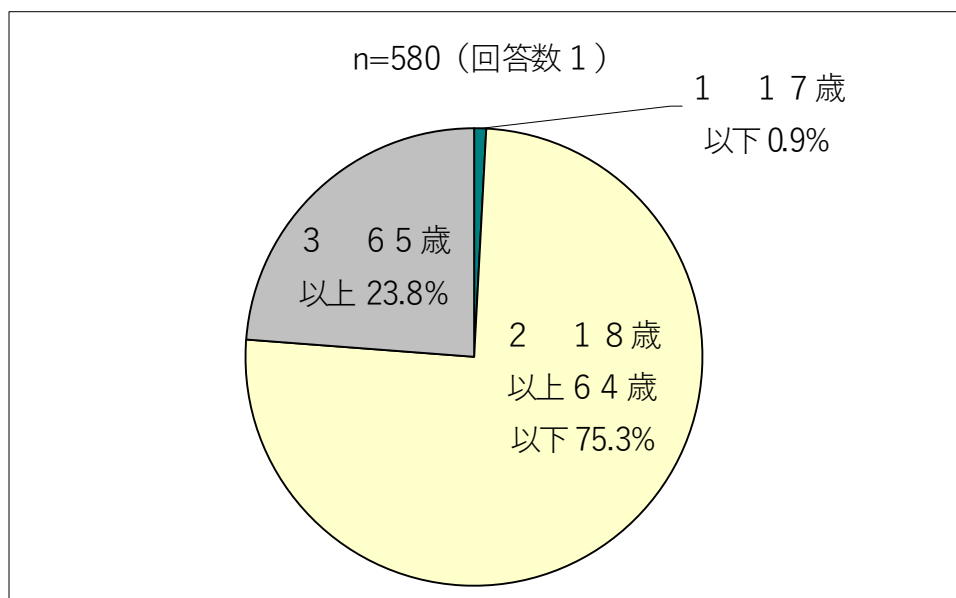


問3 「花の都」づくりに関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(500 字以内)

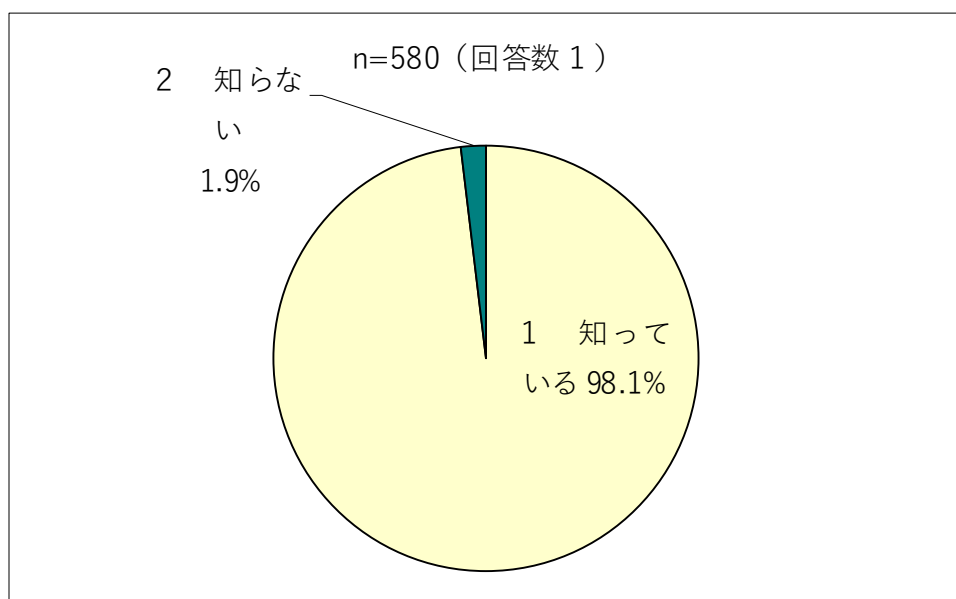
担当課 経済産業部農業局農芸振興課
TEL 054-221-2679
FAX 054-221-1351
メール nogei@pref.shizuoka.lg.jp

○「自転車乗車用ヘルメット着用努力義務にかかる周知・着用状況」に関するアンケート

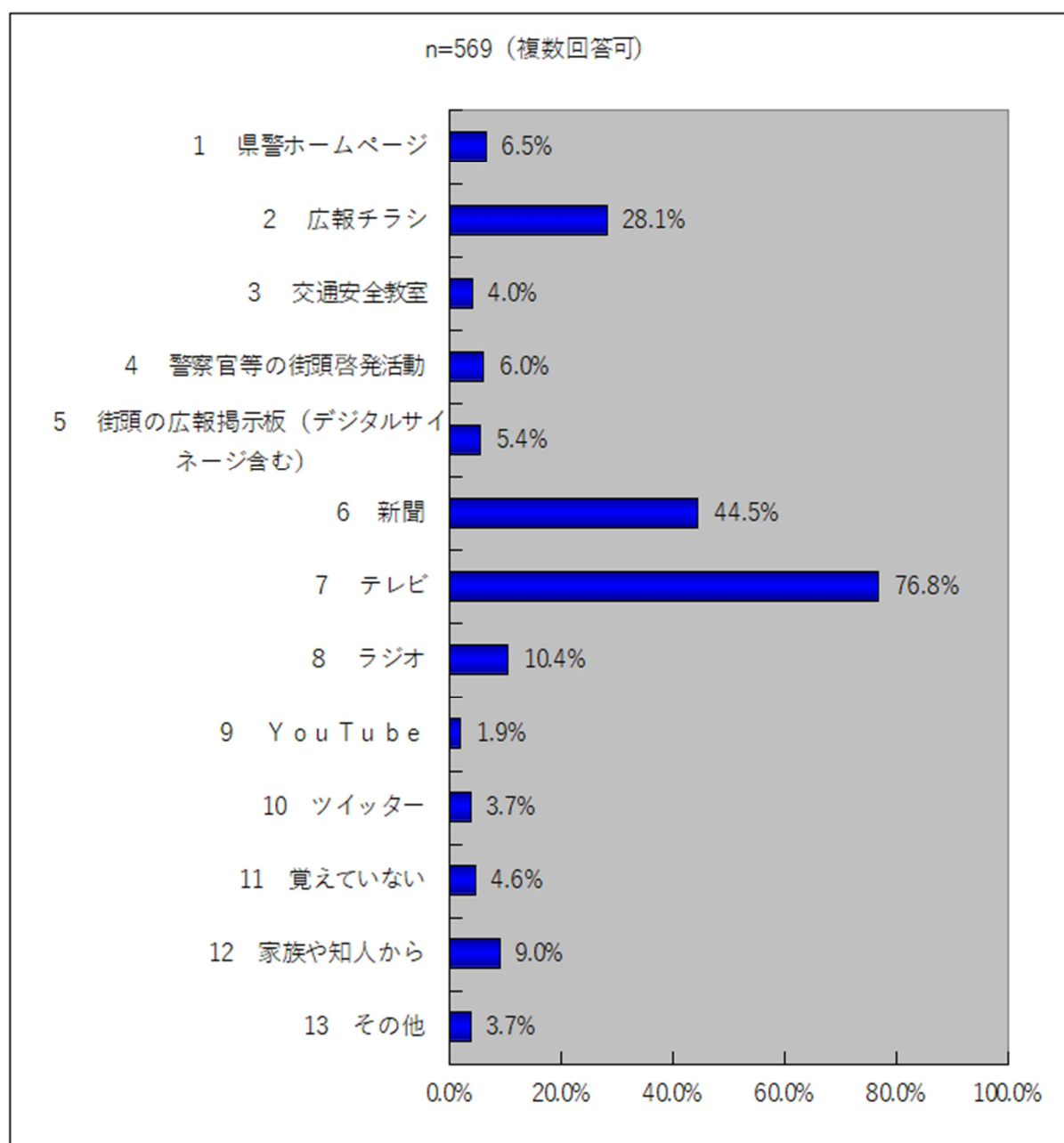
問1 あなたの年齢を教えてください。(回答数は1つ)



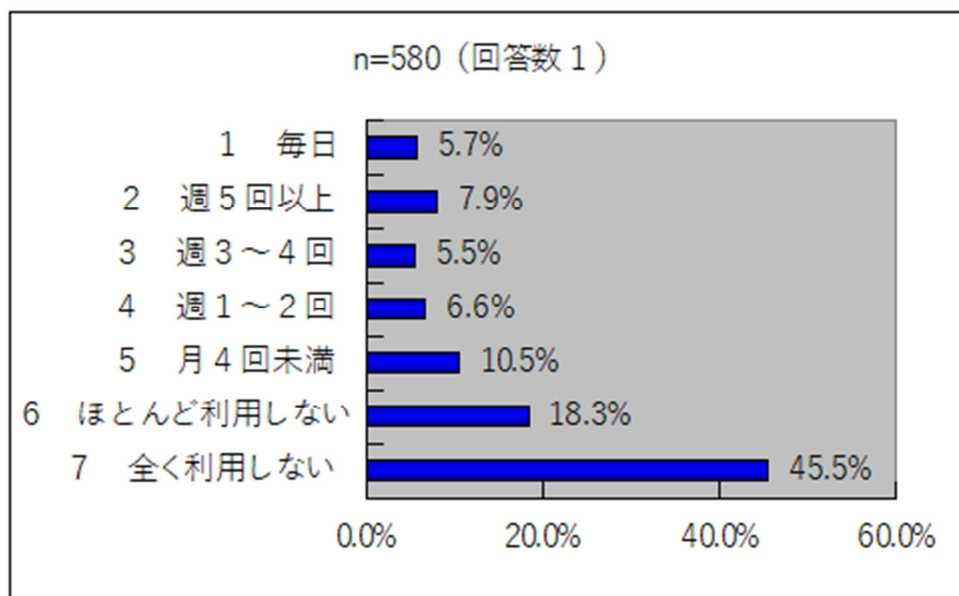
問2 令和5年4月1日から、自転車に乗車する全ての方を対象に乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。ヘルメット着用が努力義務になったことを、知っていますか。(回答数は1つ)



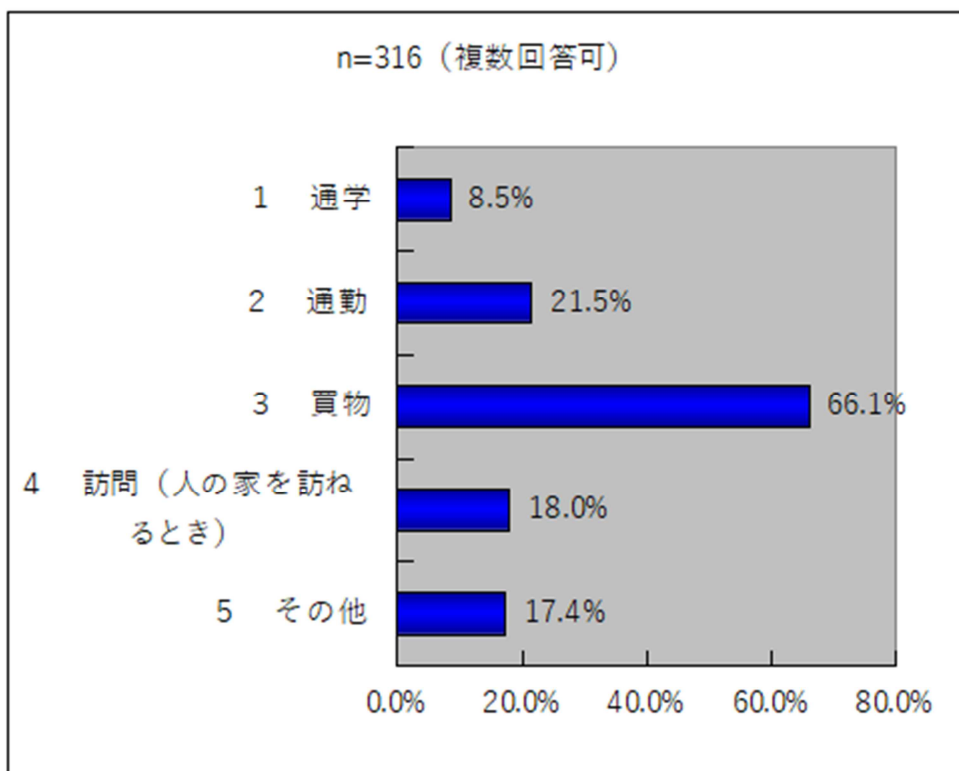
問2-2 問2で選択肢1を選択された方に伺います。どこで「ヘルメット着用努力義務」を知りましたか。(複数回答可)



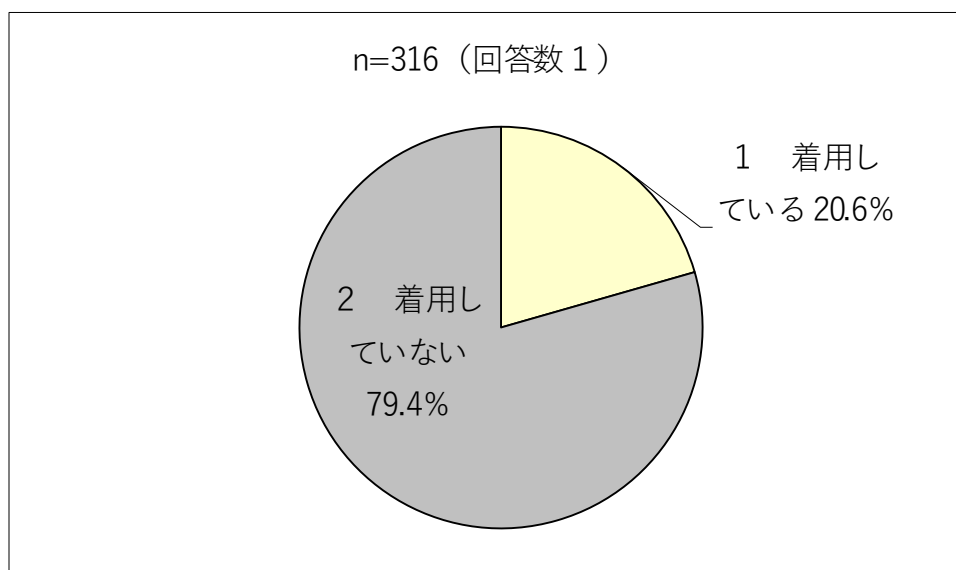
問3 自転車の利用頻度を教えてください。(回答数は1つ)



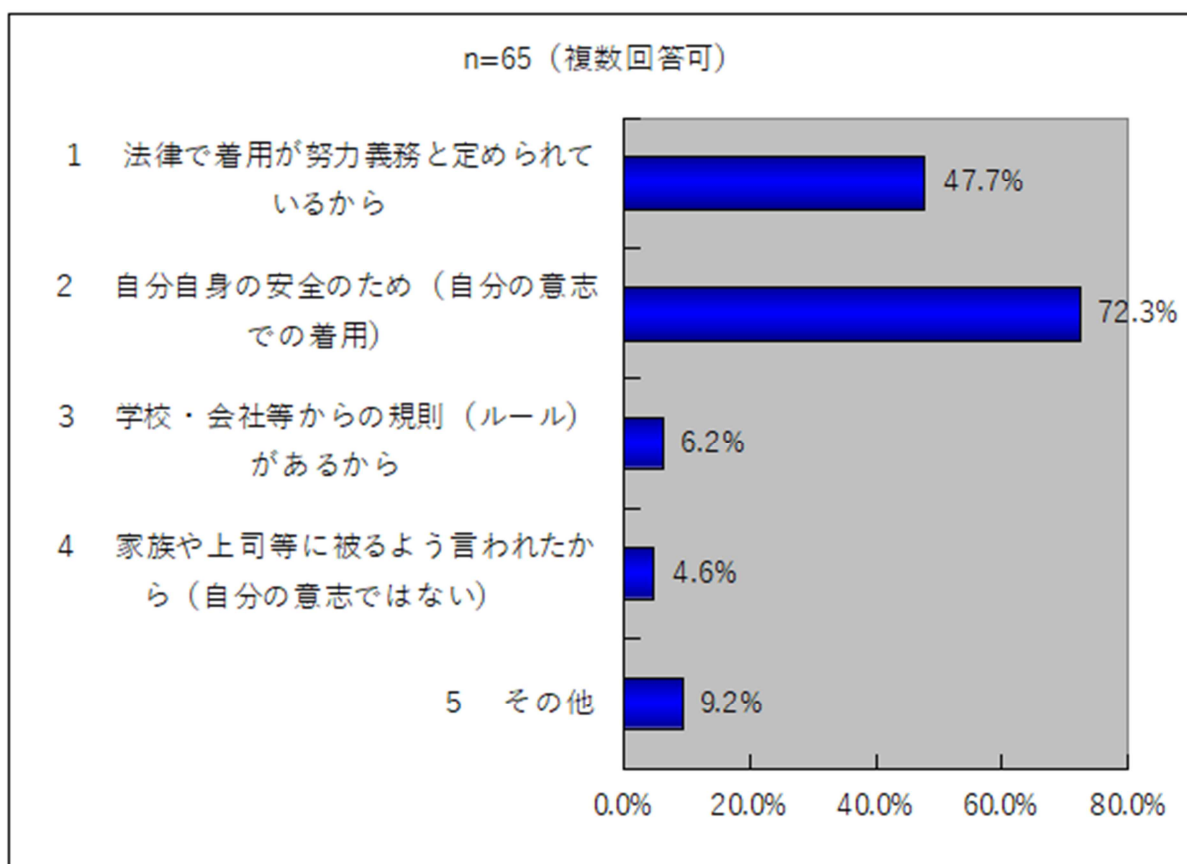
問3-2 問3で選択肢1から6を選択された方に伺います。どのような時に自転車を利用しますか。(複数回答可)



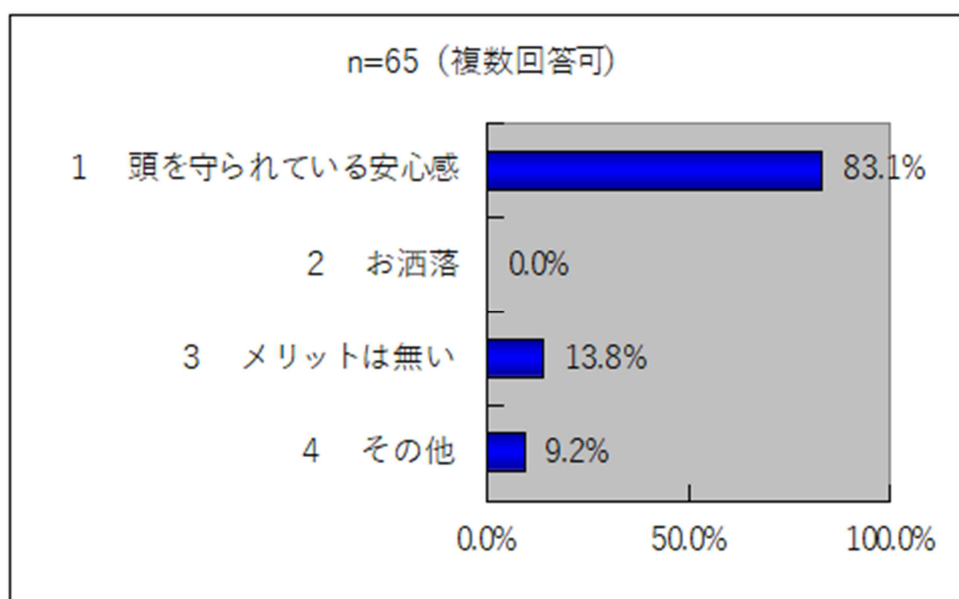
問3-3 問3で選択肢1から6を選択された方に伺います。自転車に乗車する時、ヘルメットを着用していますか。(回答数は1つ)



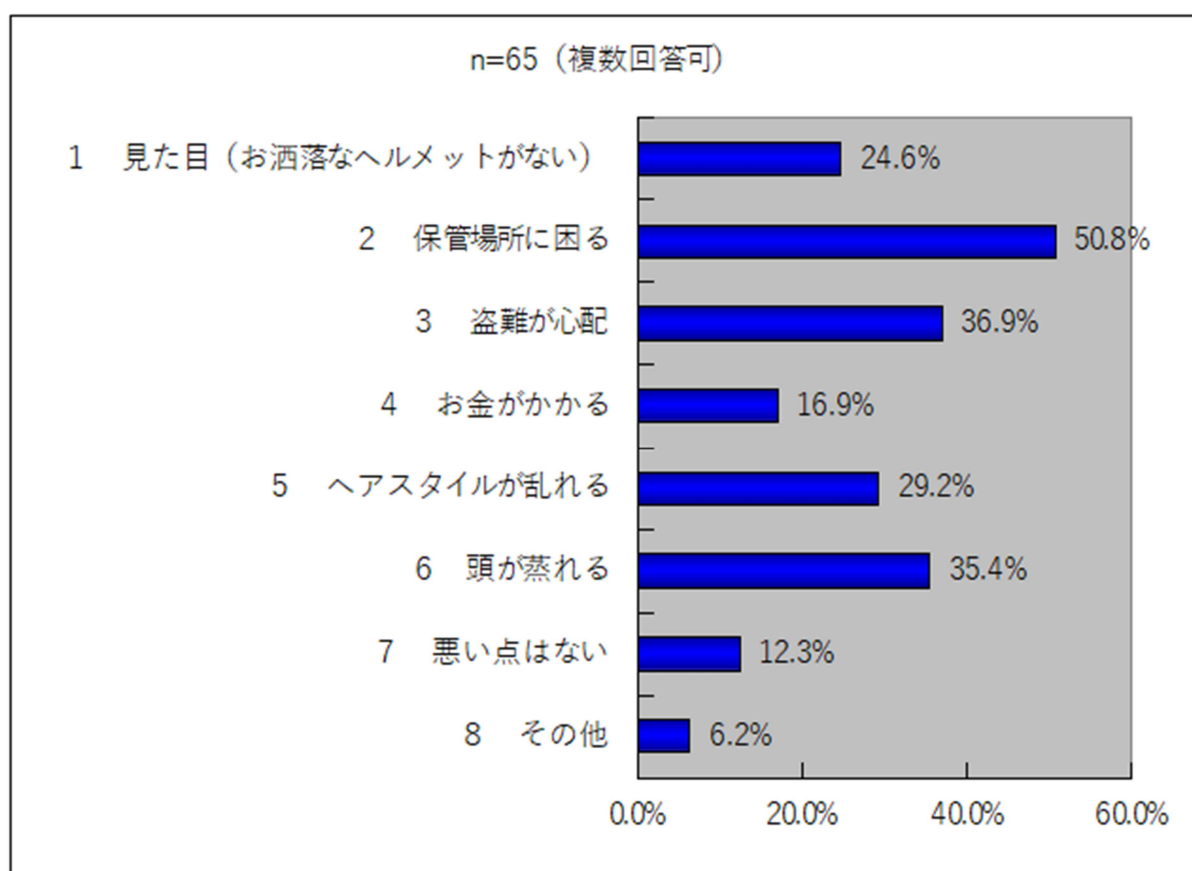
問3-3-2 問3-3で選択肢1を選択された方に伺います。ヘルメットを着用しているのはなぜですか。(複数回答可)



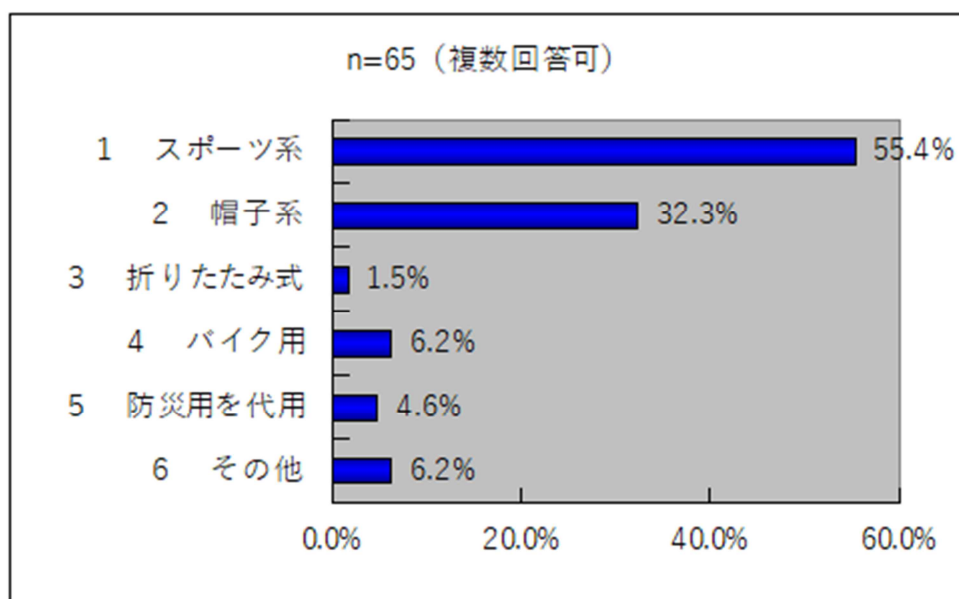
問3-3-3 問3-3で選択肢1を選択された方に伺います。着用してみて良い点は何ですか。(複数回答可)



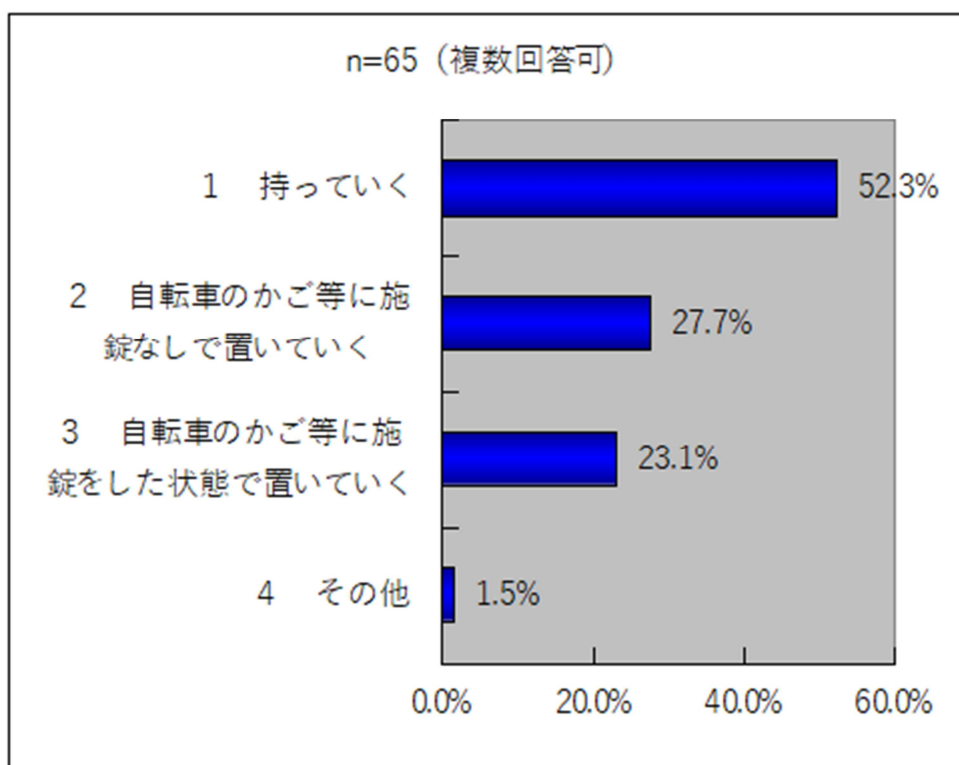
問3-3-4 問3-3で選択肢1を選択された方に伺います。着用してみて悪い点は何ですか。(複数回答可)



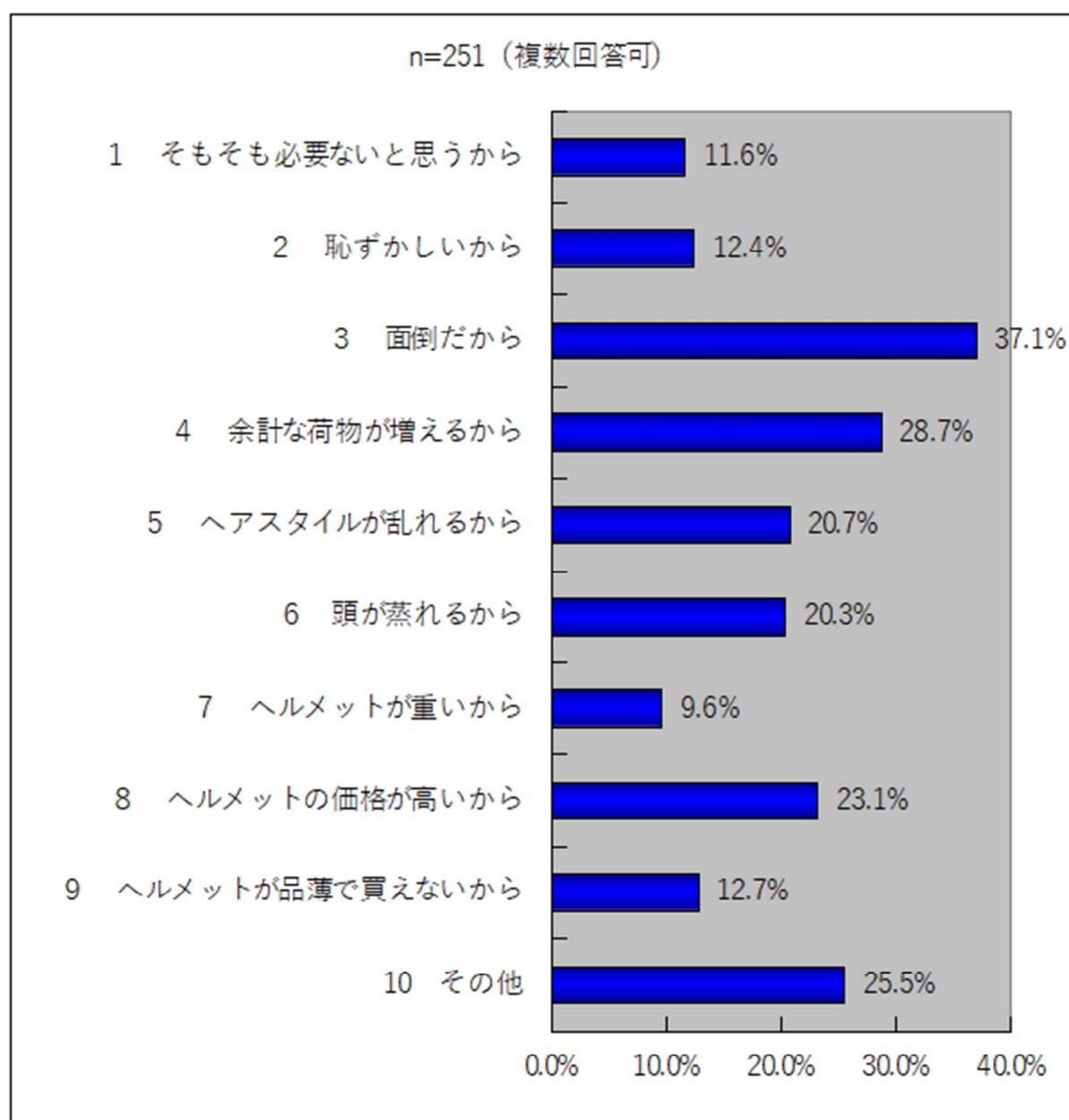
問3-3-5 問3-3で選択肢1を選択された方に伺います。どのようなヘルメットを使っていますか。(複数回答可)



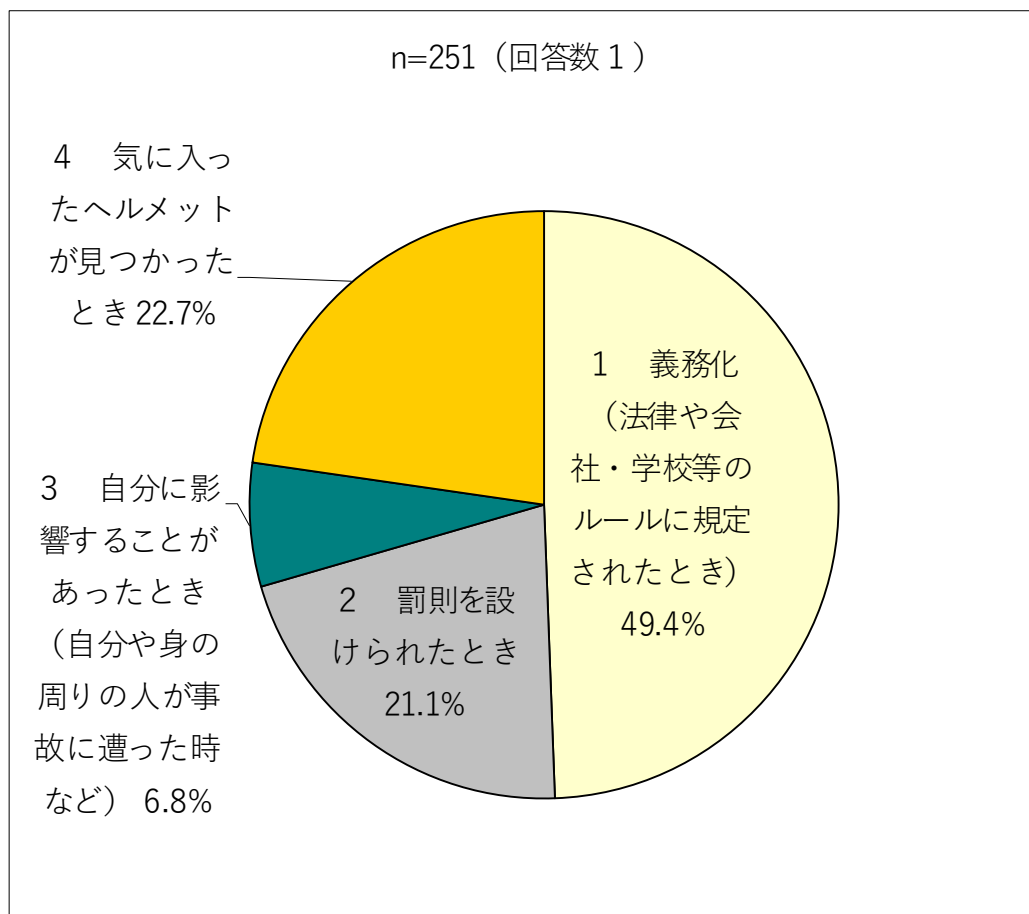
問3-3-6 問3-3で選択肢1を選択された方に伺います。自転車から離れるときヘルメットはどうしていますか。(複数回答可)



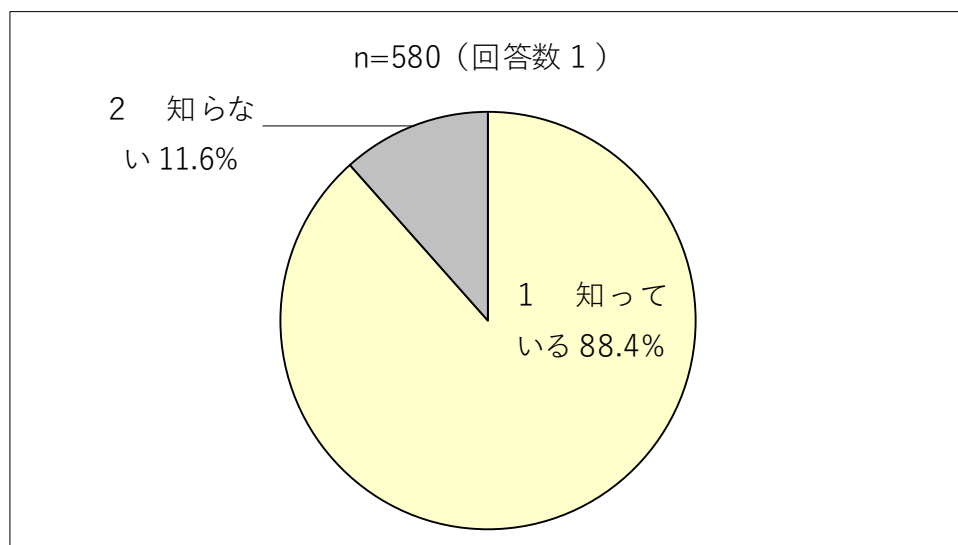
問3-3-7 問3-3で選択肢2を選択された方に伺います。ヘルメットを着用しないのはなぜですか。(複数回答可)



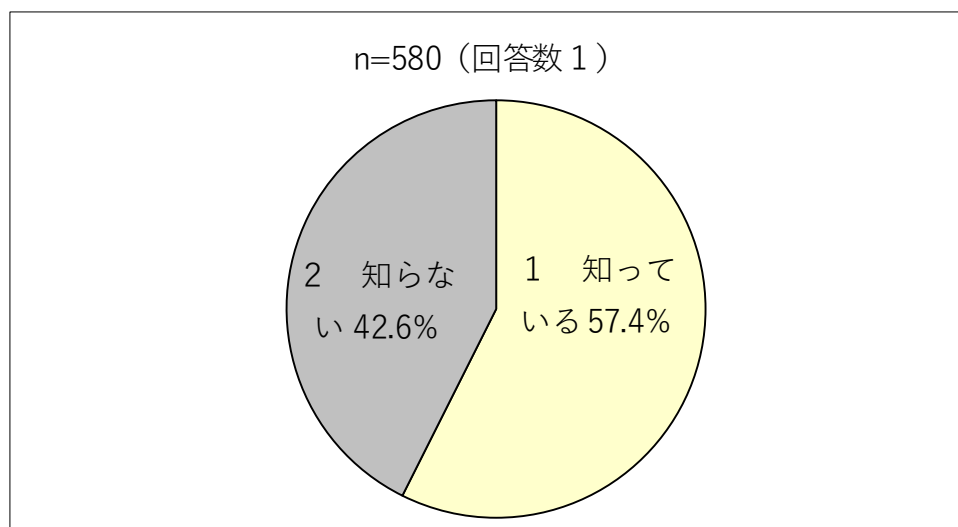
問3-3-8 問3-3で選択肢2を選択された方に伺います。どうしたらヘルメットを着用しますか。(回答数は1つ)



問4 ヘルメットの被害軽減効果について知っていますか(回答数は1つ)



問5 ヘルメットの安全性を示す規格(マーク)について知っていますか(回答数は1つ)



問6 「ヘルメット着用努力義務」に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。
(500 字以内)

担当課名 静岡県警察本部交通部交通企画課
電話番号 (代)054-271-0110